

One purpose

FOR BETTER COMMUNICATION



同志社大学通信
DOSHISHA UNIVERSITY

191

2017 June

特集

ボランティア支援室から 広がる可能性

同志社人訪問

釣り雑誌『Walton』編集発行人

北原 一平さんに聞く

COVER INTERVIEW
My Purpose 挑戦する人



CONTENTS 2017 June No.191

2 特集 ボランティア支援室から 広がる可能性



7 Seminar ～ゼミ探訪 学びの時間～ 法学部法律学科 新井 京ゼミ



9 同志社の研究は今 日独法学交渉史研究センター センター長 大中 有信(司法研究科長・教授)

11 2016年度就職戦線

13 2017年度大学予算について

15 CAMPUS NEWS

文部科学省主催「第6回サイエンス・インカレ」 同志社大学生命医科学部学生3組が表彰！／
体育会表彰式／新入学生歓迎特別講演会「継続は力なり」太田雄貴氏（フェンシング元世界チ
ャмпions）／同志社大学の募金事業／ハリス理化学館 同志社ギャラリー第12回企画展／
本学教員の執筆図書紹介

19 留学生紹介

アネシャ・ティースポーネンカンプ さん
(文化情報学部特別留学生)



20 INTERVIEW ～同志社人訪問～

釣り雑誌『Walton』編集発行人
北原 一平さんに聞く



23 My Job, My Life ～私と「仕事」～

小倉 和也さん(2008年 経済学部卒業)
辻村 沙世理さん(2003年 神学部卒業)

25 ANNOUNCEMENT

27 COVER INTERVIEW My Purpose ～挑戦する人～

後藤 智紀さん 藤澤 将広さん
(文化情報学部4年次生)



ご意見・情報を募集

「One Purpose」は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。
どうぞお気軽にご意見・情報を広報課までお寄せください。

ボランティア支援室から 広がる可能性

であう。

ひろがる。



ボランティア活動は、あなたの見ている世界や価値観を広げ、
社会を知るための第一歩となる身近な活動です。

数多くの学生がボランティア支援室を訪れ、それぞれの気持ちに寄り添うサポートを得て
様々な分野でボランティア活動に取り組んでいます。

あなたもボランティアを通して自分の可能性を広げてみませんか？

特集
インタビューボランティア支援室長
上田 雅弘【商学部教授】開設1周年を機に社会に向けた
多様な発信を強化し、地域連携をさらに推し進め、
ネットワーク拡大も図りたい

— ボランティア支援室の理念や開設の背景などを教えてください。

本学では建学の精神「良心教育」を掲げ、知育とキリスト教に基づく徳育を重視しています。社会への奉仕の精神を養い、豊かな人間性を育むボランティア活動は、徳育の一環として非常に重要なものであり、かねてより学生による多彩な活動を積極的に支援してきました。特に2011年の東日本大震災以後、学生個々の自発的な活動参画の意欲が高まり、全国でボランティア支援の組織を設置する大学が急増しています。このような時代背景の中で、学生の気持ちに寄り添い、その取り組みを積極的にサポートするために、2016年4月にボランティア支援室を開設しました。

— 開設までの経緯とボランティア支援室の特長を聞かせてください。

本学の学生支援センターでは、地域社会におけるボランティア活動を通じて、多様な世代の方々と出会い、様々な価値観を認知することによって学生の成長を促す正課外のプログラムを実施してきました。これを象徴するのが2008年度から3年間実施された文部科学省の学生支援GP「地域コミュニティによる学生支援方策～京町家を拠点にした異世代協同プロジェクト」です。具体的には出町柳にある京町家「でまち家」を起点にした活動です。現在の京都市上京区で創立し、以来140年以上の歴史を積み重ねてきた本学は、地域との絆も深く、今出川校

地が立地するこの地を中心にした地域連携のボランティア活動を大きな柱の一つとして活性化を推し進めてきました。その基幹事業として上京区役所、上京区社会福祉協議会の協力を得ながら展開しているのが「同志社つながる@カフェ」であり、地域と学生の活発な出会いの場になっています。



京町家「でまち家」(当時)

また、ボランティア支援室では学生の自主性を尊重した学生主体の活動のサポートを目指して、「地域と共に」をスローガンとして掲げた学生スタッフ「ARCO」を設置しています。さらに、学内ボランティア団体の横断型ネットワークとして「同志社ボランティアネットワーク(通称V-NET)」を今出川・京田辺の両校地で展開しています。

— ボランティア支援室の今後の展望などを教えてください。

開設間もない昨年7月には「ボランティア支援室開設記念シンポジウム」を開催。講師にお招きした特定非営利活動法人ユースビジョン代表の赤澤清孝氏による「大学ボランティアセンター開設における可能性について」と題した基調講演、パネルディスカッションなどを通じて貴重なご意見や情報を得ることができ、本学学生・教職員は

もとより、他大学や地域の方々との連携を深める契機となりました。その後も様々な活動への取り組みの中で、数多くのご提案などを賜わりながら今年4月で開設1周年を迎えることができました。これを機にボランティア支援室から社会に向けた多様な発信を強化し、地域連携をさらに推し進め、外部との多角的なネットワークも拡大していきたいと願っています。

— ボランティア支援室長から学生へのメッセージをお願いします。

ボランティア活動に取り組むことによって地域の多様なニーズ、社会が直面する様々な課題を実感することができます。これらを具体的に捉え、主体的に熟考するという実践的な経験は、個々の問題解決能力の向上に直結すると考えています。また、活動の現場で得た新たな気づきが正課教育に対する学習意欲を高め、専門的な探究を深め、その学びを個々が取り組んでいる活動にフィードバックすることができます。

そして何よりも実感してほしいのは、活動を続ける中で「利他的」な発想が芽生えてくるということです。最初は自己の成長など「利己的」な動機でボランティア活動を始めるケースが多いと思いますが、いつしか「利他的」な動機へと変化する時がきます。そして、これが社会における自分の役割や価値を考える契機になる。個人は社会の中で成長し、社会も個人の献身によって発展します。見返りを考えている次元を超えた時、「利他的」な思いが生まれ、やがて社会性のある人格が形成されるのです。ボランティア活動に参加することは、社会人としての自覚の育成に大きく役立つと確信しています。

ボランティア支援室は、あなたの「チャレンジ」を応援します!!

充実のサポート体制、 多彩なプログラムを展開

ボランティアの分野は、社会福祉から自然・環境、国際、スポーツ、まちづくり、災害まで実に多彩です。参加する動機もそれぞれ異なります。ボランティア活動に関心があれば、まずボランティア支援室へお越しください。専門的な知識を持ち、活動経験のあるコーディネーターが何でも相談に応じ、あなたの気持ちに寄り添いながら適切なアドバイスを行います。本学の学生がすぐに参加できるボランティア情報も数多く提供しており、ボランティア支援室が主催・募集する多様な啓発および体験型のイベントプログラムに参加することもできます。この機会に新たな一歩を踏み出してみませんか？



ボランティア支援室の活動内容

1 各分野の ボランティア情報を収集

ボランティア支援室では、チラシの設置、ポスターの掲示、メールマガジンの配信などにより、多様な分野のボランティア情報を提供し、日々その拡大を図っています。



2 学生の相談に応じ、 活動をサポート

専門のコーディネーターがボランティアに興味のある学生の相談に応じ、参加する際に必要な助言やサポート、さらに学生と活動先とのコーディネートを行っています。



3 入門講座から 体験型プログラムまで

学生の参加を促すために、初心者を対象にした「ボランティア入門講座」、学内各団体の活動を紹介する「ボランティアフェア」を実施。さらに、体験型の「ボランティアプログラム」も展開しています。



4 活動に役立つ スキルアップ講座

すでにボランティア活動に取り組んでいる学生を対象に、活動に役立つ知識やスキルの向上を図る「スキルアップ講座」も開講しています。



5 ネットワーク構築を 積極的に推進

学生の活動のフィールドを拡大するために、学内外の関連団体や地域の方々とのネットワーク構築に努めています。これらは地域社会のボランティア活動の振興にも貢献しています。



同志社つながる@カフェ

地域の方々と学生が出会い
新たな交流を生み出す
「つながる場」

気さくな語らいの中で、新たな気づきが得られる、学びに満ちた「同志社つながる@カフェ」。毎回、テーマは異なるので、その話題に関心を抱いたら気軽に参加してください。詳細については、ホームページで随時ご案内します。



メールマガジンを配信

おすすめのボランティアイベント情報をメールマガジンでお届けします。配信を希望される方は、下記のメールアドレスまでご連絡ください。



ji-volun@mail.doshisha.ac.jp

ボランティア支援室 ホームページ

募集中のボランティアプログラム、活動報告、参加者の声などボランティア活動に役立つ様々な情報を掲載しています。学生スタッフブログも更新中！



<http://volunteer.doshisha.ac.jp/>

実り多きボランティア活動が、あなたの参加を待っている!!

〔2016年度にボランティア支援室で実施した各種プログラムの紹介〕

同志社つながる@カフェ



『地域と学生の出会いの場』をコンセプトに、学生が地域で活動する様々な方と出会い、気軽に情報交換のできる企画です。毎回テーマが変わるので、自分の興味・関心にあわせて参加することができます。昨年度は「祇園祭」「京都の季節行事」「児童館」などについてお話ししました。

学生スタッフ主催 ボランティアプログラム



「四季体感イベント」は、ボランティア支援室学生スタッフ ARCO 主催のイベントで、上京区内の小学生を同志社大学に招待し、四季を感じられる体験と一緒にボランティアプログラムです。事前準備や当日の運営を手伝うボランティアとしてイベントに関わることができます。

体験ボランティアプログラム



ボランティアに興味はあるけれど参加するきっかけがない、一歩を踏み出せない、何から始めればいいのかわからないといった学生を対象に実施しているプログラムです。昨年度は1泊2日で和束町にて茶畑での作業を手伝うボランティア体験を行いました。普段の大学生活ではできない経験が得られる好評の企画です。

熊本地震義援金募金活動



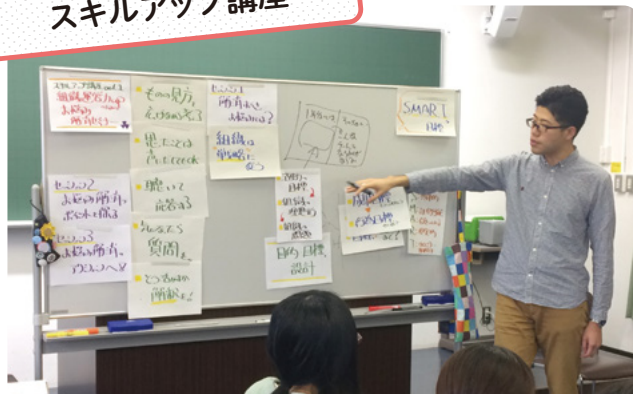
2016年4月22日～5月31日の間、キャンパス内で熊本地震災害にかかる義援金募金活動を行いました。両校地キャンパス内でボランティアによる呼びかけ活動を行い、のべ565人の学生が参加し、集まった義援金506,958円は全額、日本赤十字社へ送金しました。ボランティア支援室では、今後も復興支援に取り組んでいく予定です。

V-NET主催 ボランティアプログラム



同志社大学のボランティアサークルのネットワークであるV-NETが主催し様々なボランティアプログラムを実施しています。昨年度は、地域の小学生向けのイベントや、防災について考えるプログラムを実施しました。こうした企画にもボランティアや参加者として関わるすることができます。

スキルアップ講座



ボランティア活動に取り組んでいる学生や学内ボランティア団体等を対象に活動に活かせる発展的な知識やスキルを学ぶ場を提供する講座です。昨年度は「組織運営力UP」をテーマに、所属している組織やグループをうまく動かすためのコツについて、専門家からアドバイスを受けながら、上手な組織運営の手法について学びました。



学生スタッフARCO(アルコ)

地域と本学をつなぐ「架け橋」を目指す
ボランティア学生が大集合!!



本学の学生のボランティア活動の活性化を図るために、ボランティア情報の発信・紹介や多彩なボランティアイベントの企画・運営を行なっています(現時点での活動は今出川校地のみ)。具体的には、地域と学生の交流の場「同志社つながる@カフェ」の企画・運営、地域の小学生を対象にした「四季体感イベント(七夕など)」、地域との交流(地域行事や上京区まちづくり円卓会議への参加)などの活動を展開。さらに、「熊本地震義援金募金活動及び現地ボランティア」、「祇園祭ごみゼロ大作戦」、「京都市総

合防災訓練」など多彩なイベントにも積極的に参加しています。スローガンは「地域と共に」。名称の「AR」は「Area = 地域」、「CO」は「CO = 共に」を意味し、ARCO が地域と本学をつなぐ「架け橋(虹)」のような存在になれるようにという思いが込められています。「サークルではなく、大学のスタッフとしてボランティアに関わりたい」という方は、ボランティア支援室までお問い合わせください(募集には募集時期や応募条件があります)。



同志社ボランティアネットワーク

両校地でのボランティア活性化を図る各団体横断型のネットワーク

本学に所属するボランティア団体(大学公認団体、学生支援センター登録団体)のさらなる活性化を目的とした学内ボランティア団体横断型のネットワーク(通称 V-NET)です。今出川と京田辺の各校地ごとにネットワークを構築し、ボランティア支援室主催の情報交換会で、それぞれの活動や組織運営に関する意見交換を活発に行っています。2017年4月現在、今出川7団体、京田辺6団体が加入しています。

加入団体 / 今出川

- ・国際居住研究会
- ・STUDY FOR TWO
- ・学生団体 CHAD
- ・同志社ヒーローショー同好会
- ・ASUVID 今出川
- ・同志社 FAST
- ・ラッキー

加入団体 / 京田辺

- ・スポーツボランティア団体 Egg
- ・PAZ MUSICA
- ・Global Baton for Ishinomaki
- ・ASUVID 京田辺
- ・そら
- ・同志社生涯スポーツ研究会 ~DUAL Sport~

今後の
活動予定

祇園祭ごみゼロ大作戦 ボランティアスタッフ大募集!

活動内容

リユース食器システムの運営、場内に設置されたごみ箱での分別誘導、散乱ごみの清掃活動など



※詳細については、ボランティア支援室ホームページをご覧ください。

日時 7月15日(土)~16日(日)

申込締切 6月8日(木) 17:00

申込方法 ボランティア支援室
(jt-volun@mail.doshisha.ac.jp) まで、
メールにてお申し込みください。

申込用 QR コード



同志社大学 学生支援センター
ボランティア支援室

開室時間 9:00~17:00(平日)

HP <http://volunteer.doshisha.ac.jp/>

今出川校地

〒602-0023

京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103

室町キャンパス 寒梅館1階

Tel (075) 251-3236 Fax (075) 251-3099

Mail jt-volun@mail.doshisha.ac.jp

京田辺校地

〒610-0394

京田辺市多々羅都谷1-3

京田辺キャンパス 多目的ホール1階

Tel (0774) 65-6777 Fax (0774) 65-7421

Mail jt-volun@mail.doshisha.ac.jp



ゼミナール Seminar

ゼミ探訪学びの時間

法学部法律学科 新井 京ゼミ あら い きょう 【法学部法律学科教授】

国際法を学ぶことによって 共存の大切さを実感し、 物事の本質を問い続ける姿勢を 堅持して欲しい

実際の判例を用いた 迫真の模擬裁判を展開

新 井京教授の専門分野は、国家間の諸関係を規律する国際法である。その中でも、特に国際人道法を研究している。新井ゼミでは2年次に国内の国際法に関する判例を取り上げ、基本的知識を学ぶ。3年次以降は国際司法裁判所の判例を中心に国際法に対する理解を深め、4年次の最後に各自が選択したテーマに基づき論文を執筆する。また、ゼミ生は関西の国際法ゼミ対抗のディベート大会、早稲田大学などとの合同ゼミにも参加する。

新井ゼミの際立つ特徴は、実際の判例を用いた模擬裁判の形式を取って

ることである。「法律学科の勉強は学説・判例を読解することが基本です。この観念的な学びを、模擬裁判のための綿密な準備、本番の緊迫感に満ちた討議などが実践的なものにしてくれるのです。2年次生が取り組む国内の国際法に関する判例は、そこに実際に記載されている原告や被告の主張を素材にして、弁論の組み立て方に集中します。3年次生から取り組む国際司法裁判所の判例では、自分の主張を一から立ち上げ、熟考しながら弁論内容を構築することになります。この難しさが、実力を鍛えてくれるのです。相反する立場から討議を重ねることによって弁論の能力も高めることができます。また、模擬裁判は一般的に架空の判例で

行われますが、法律学は判例研究が非常に重要です。実例ならではの迫真性も探究に役立ちます」。このような観点から新井ゼミでは、すでに10年間にわたってこの演習方式を続けており、3年次生の中頃には多くのゼミ生が大きく成長した姿を見せ始めるという。

教室の奥の長机に新井教授と大学院生(TA)が座し、この前に原告と被告の席が向かい合う形で設置されている。その向こうには、コの字型に約20人のゼミ生が着席し、演習が開始された。



「原告や被告を担当しているゼミ生には、裁判中に多様な視点から質問をしたいので、大学院生に同席を依頼しています。彼らには事前の準備や討議の基本的な調整などのお手伝いもお願いしています」。

取材当日に取り上げられた判例は、「サイガ号事件」だった。この事件は1997年10月27日に排他的経済水域で操業していた漁船に対して燃料の洋上補給を行った給油船(サイガ号)が、排他的経済水域を含む関税水域での無許可の給油行為を禁止した沿岸国ギニアの国内法令に違反したとして、ギニア警備艇が逃走するサイガ号を追跡し、砲撃を加えた事例である。これについてギニアと給油船の旗国であるセント・ヴィンセント及びグレナディーン諸島との間で、洋上補給に対する沿岸国の管轄権行使や追跡権行使が合法であるか否か等が争われたのである。当初から原告、被告双方の主張は白熱し、その合戦をぬって新井教授や大学院生(TA)から鋭い質問が投げかけられ、時間は瞬く間に過ぎて行った。

「国によって様々な立場があり、価値観も異なる。これは国内の各個人も同様です。私たちは、その相違を前提にして生きている。国際法を学ぶことによって共存の大切さを実感し、互いの違いを乗り越える深い人間愛を育んで欲しい。また、常に物事の本質を見

この人であれば、心を開いて相談できると感じてもらえるような、人間的の高い人へと成長したい。

4年次生 向井 健朗さん

発信力が鍛えられました。後は切り返す瞬発力を高め、自信を持って発言できるようになりたい。

3年次生 井上 元輝さん

新井先生を心から尊敬しています。ゼミ生個々の学びの状況を見極め、常にその先へ導いておられます。

3年次生 田原 真理子さん

ゼミ生は弁論も巧みで、レジュメの作成も上手く、誰もが個性的。本ゼミは刺激に満ちています!!

3年次生 谷垣 良佳さん

物事の核心を探究し、相手を説得する力が養われた。次代に向けて仕事力の際立つ人間になりたい。

4年次生 江口 遥菜さん

「国際関係」を完全に理解するためには、政治、経済、そして法律の3分野の知識が不可欠である。これらの3分野の勉強を進め、自分のものにしたい。

3年次生 春山 昂斗さん

極める姿勢を堅持し続けてもらいたい」。これが新井教授のゼミ生へのメッセージである。

揺るぎない主張を立ち上げ 原告や被告を担当する

現 在、新井ゼミに所属する4年次生は16人(男性11人・女性5人)、3年次生は26人(男性13人・女性13人)である。4年次生の向井健朗さんは、本ゼミの模擬裁判は非常に実践的で、国際法の知識が格段に深まり、討論の能力も養われたと語る。また、早稲田大学などとの合同ゼミ(3泊4日・3年次6月実施)でも、大きな学びを得たと振り返る。「事前に他大学の2人とチームを組み、合宿の後半に行われる模擬裁判に向けてメールのみで与えられたテーマについて打ち合わせを行いました。合宿初日は、全く面識のない相手なので、互いに手探りの状態からのスタートでした。しかし、次第に議論もかみ合うようになり、本番の模擬裁判は上々の出来だったと思います。合宿後は本ゼミの仲間も、かなり成長したと感じました。私の場合は特に考えの異なる人を牽引する力を鍛えることができました」。

同じく4年次生の江口遥菜さんも「合同ゼミでは徹夜で議論を重ね、その圧倒的な熱気に『青春』を実感しました。いつまでも色褪せることのない貴重な時間を過ごすことができました」と微笑む。すでに卒業後のビジョ

ンも明確で、本学での学びを起点に、建物のデザインや性能を改善するデザインリノベーションの分野に進み、将来的には独立を果たし、エキスパートとして広く活躍したいと考えている。



3年次生の春山昂斗さんは、以前から宇宙に強い関心を抱いており、文系と宇宙との接点を探っていた中で宇宙法を見出し、法律学科を選択した。また、1年次生の時に新井教授の特殊講義「国際人道法模擬裁判」の大会で弁論者を担当し、これをきっかけに国際人道法などの武力紛争に適用される法律にも興味を抱くようになり、本ゼミを選んだという。4年次で執筆する論文の具体的なテーマは未定だが、宇宙法か国際人道法の分野を想定している。

「模擬裁判の原告や被告を担当する時は準備が大変です。数多くの資料を読み込み、論点をすり合わせ、当日に備えるのですが、本番では鋭い質問の数々にたじろぐことも少なくありません。でも、少しずつですが、弁論の仕方は上達していると思います」と快活に話すのは、3年次生の谷垣良佳さん。1年次生の時に、今出川近辺で落とした財布を発見してくれた警察官の親切

な対応に感激し、これを契機に警察官を目指している。

将来は弁護士など法律を通じて人を助ける仕事に就くか、政治家になりたいと、3年次生の井上元輝さんは語る。法学部に進学する契機になったのは、小学生の頃から心に抱いていた「なぜ、日本で暮らす外国人には制約があるのか…」という思いだった。本ゼミを選んだのも「国境を超えた人と人との関わり方、世界の平和について同学年の仲間と語り合える」と考えたからである。現在、目前に迫った模擬裁判に向けて準備中であり、ここで自身の成長を確かめたいと張り切っている。3年次生の田原真理子さんが法律学科を選択したのは、法律を通じて日本や世界について考えてみたいと思ったからである。その原点になったのは、小学生の頃に家族で旅行したインドや高校1年生の時に短期留学したアメリカでの見聞だった。「本ゼミでは反論を予測することの難しさ、物事を異なる観点から捉えることの重要性を実感しています」。将来は本ゼミで学んだ国際法を生かして国民や日本のためになる仕事に携わりたいと考えている。



第一次世界大戦以降の日独法学の交渉史を分析し 日本法の根底を成す政策的・法文化的な変容を考察

日本法はドイツ法学から多大な影響を受けてきた。そのために、本格的な歴史研究を行い、現代日本の法制度の基層を総合的に考察することは喫緊の課題である。日独法学交渉史研究センターでは共同研究「日独法学交渉史と現代日本法の形成についての総合的研究」によって第一次世界大戦以降のドイツ語圏への日本人留学生の実証的データを基に、法思想の形成過程、制度受容などの実態を解明。その後の変容を、特に第二次世界大戦時及び戦後の日本法システム形成の視点から探究している。

日独法学交渉史研究センター

センター長 おお なか あり のぶ 大中 有信

【司法研究科長・教授】

1990 年京都大学法学部卒業、1992 年京都大学大学院法学研究科修士課程修了、1995 年京都大学大学院法学研究科博士後期課程退学。大阪国際大学助教授、法政大学法務研究科教授を経て、現職。大学時代に司法試験に合格し、民法の教育・研究の道に進む。少年時代から裏千家で茶道に親しみ、現在も茶の湯の世界で心を和ませている。



大きな影響を及ぼした法制官僚の留学

日独法学交渉史研究センターの本共同研究に先立ち、2012年から2015年まで「日独法学交渉史の総合的研究」(研究代表者:H.P. マルチュケ)が行われてきた。この起点となったのは、ドイツの国立公文書館の司書であったハルトマン(R.Hartmann)の調査資料である。そこには1868年以降(1945年まで)のドイツにおける日本人留学生の受け入れ大学、専門科目、留学期間、帰国後の経歴、学問的業績などが記載されており、その数は数百に及ぶ。3年間にわたる本研究によって留学生(260余人)に関する基本情報はすでにデータベース化され、研究成果の一端は「日独法学交渉史の再定位」と題したシンポジウム(2014/12:法制史学会近畿部会共催)で発表された。



これまで試みられることのなかった留学生の実態に関する実証的研究と基礎的資料の公開は、学界を始めとする共有財産の形成に大きく貢献するものである。また、データの分析によって帰国後に行政官・司法官としての経歴をたどった者が多数を占めていることもわかった。これらは日本における法制官僚の構造の解明、日本法への影響の探究に役立つ。さらに、ドイツ法の受容は三つの段階を経ていることも判明した。法制度整備の時期(明治初年～20年代)、導入制度を詳細に分析した学説継受期(明治20年代後半～大正期)、政策立案のために比較法対象とした受容期(大正・昭和初期以降)である。本共同研究は、これらの実績を受け継ぎ、伸展させることを目的にしている。

比較法の視点でドイツ法を捉えた留学生

ハルトマンの調査に基づく基礎的データは、第一次世界大戦の勃発時から1920年までの情報が欠落しており、それ以降はベルリン大学の日本人留学生に限定されている。「この時期は戦争で日独の国交が途絶え、日本人留学生がオーストリアやスイスなどのドイツ語法圏に研究の場を求め、比較法対象としてドイツ法を俯瞰的な視点から受容していった過程と重なります。受容は単なる模倣ではなく、独自の創造性を含む言葉です。ですから、日独法学交渉史と現代日本法の形成を探究する上で、非常に重要なポイントになるわけです」。このような観点から本研究センターでは、今後の研究に不可欠なこの基礎的資料の結実を目指している。具体的には、まずドイ

ツ(1920年～1945年のベルリン大学留学生を除く)、オーストリア、スイスを中心とした留学生リストを作成。これに基づき、留学先及び日本側に所在する研究業績、伝記的叙述などの個人情報の収集に努め、ドイツの公文書館や図書館にある日本人の研究発表、大学に保管されている博士論文、翻訳書、専門雑誌に掲載された研究論文、随筆、法律事情の紹介、有力な研究者との書簡なども徹底的に集めている。また、留学生の間に存在した緊密なネットワークに関する情報収集も実施。さらに、法思想史的背景を探究するために、法哲学の恒藤恭、法史学の栗生武夫、民法学の我妻榮を取り上げ、個別の制度・学説史を考察するために民事訴訟法の兼子一なども研究対象にしている。

産業合理化運動が統制経済法令に直結

欧米列強を目標に日本の近代化を図る明治新政府にとって人材育成は要諦であり、欧米各国に逸材を送り出し、学ばせる。当時、分野別に派遣する国を決めており、法律はフランスであった。しかし、「明治14(1881)年の政変」で君主主権の憲法制定を目指す伊藤博文や井上馨が対立する大隈重信らを政府から追放し、急激にドイツに傾斜して行く。「これを牽引したのが大日本帝国憲法などを起草した井上毅です。法律は民族や地域などの歴史を背景に生成し、発展するというドイツの歴史法学に感銘したのです。これに先立ち、普仏戦争を視察した大山巖(後の陸軍元帥)がドイツの高度な教育体制が勝因であると高く評価したことも、この流れを加速させました」。以後、ドイツへの留学生数は激増し、帝国大学(東京大学)の講義でもその判例集を用いるようになる。

第一次世界大戦後の1929年に起こった世界恐慌も、その後の法制度に多大な影響を及ぼす。「危機的な状況に直面した日本は、限られた資源を効率的に運用するために、ドイツで行われていた産業合理化運動などをモデルにし、これが一連の統制経済法令につながっていきます。例えば、電力会社の統合、農業金融、借地借家権の保護強化、源泉徴収制度など多岐にわたります。これらはGHQによる改革後も残存してきました」。本研究センターでは、このような今日の日本法の通底を形成し、独自の展開を遂げてきた日本の法制度を総合的に考察し、従来の研究に新たな視角を提供したいと考えている。

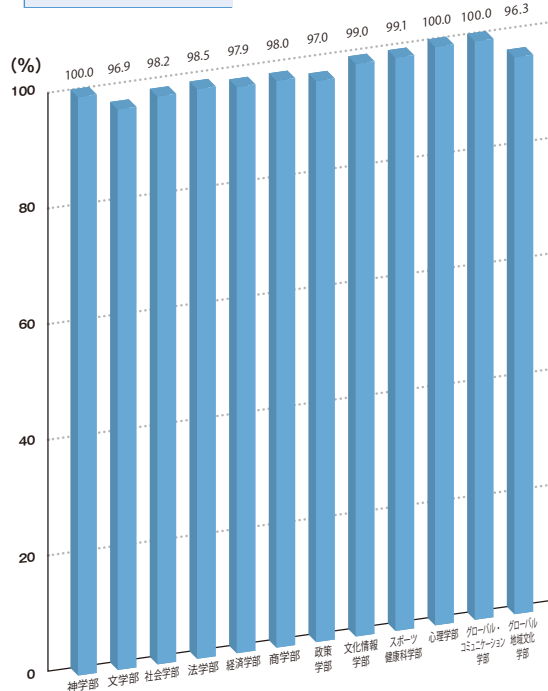


2016年度の就職状況は、大卒求人倍率の上昇を反映して、予想通り売手市場となり、就職率は98.4%と高い数字になりました。その一方で、社会のニーズが多様化する中、企業は今後ますます、外国語運用能力、情報活用能力、人間関係を結ぶコミュニケーション能力、さらには問題発見解決能力など、自ら考え行動し成果を上げることができる潜在能力を持った自立した人材を求めています。このような変化の中で、皆さん自身がより高いキャリアを形成するためには、目的を持ち勉学やクラブ活動に充実した大学生活を送ることや、**インターンシップ(注1)**など学外の体験学習を通じて社会の動きを理解することが大切になります。

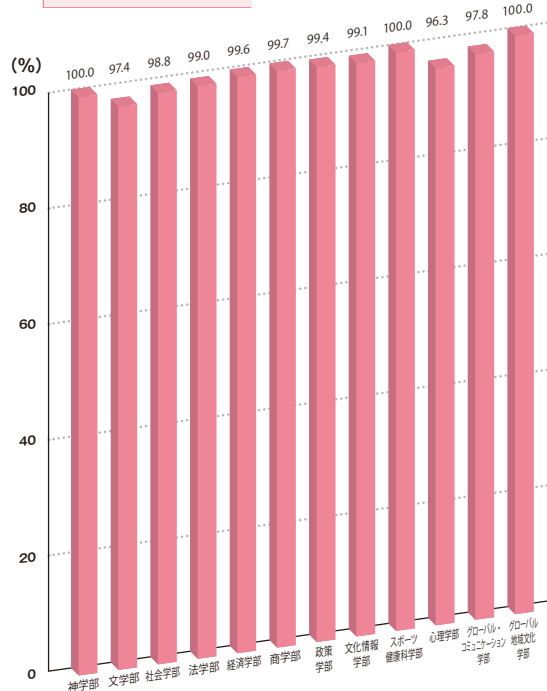
■ 就職率

就職率 = $\frac{\text{就職者数}}{\text{就職希望者数}}$

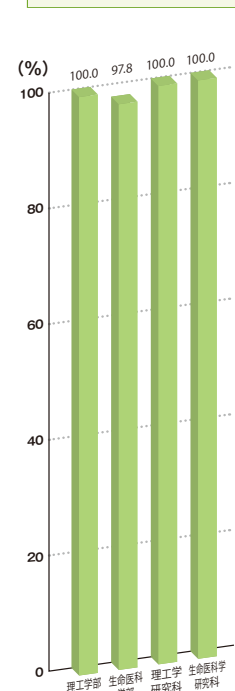
文科系学部／男子



文科系学部／女子



理工系学部・研究科



■ 主な就職先と人数

会社名と人数

文科系

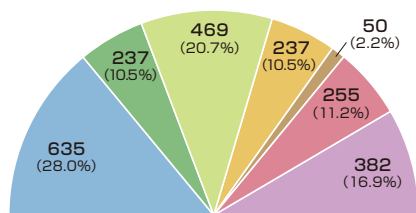
国家公務員(一般職)	54	株式会社南都銀行	17
株式会社京都銀行	52	楽天株式会社	17
株式会社三菱東京UFJ銀行	50	富士通株式会社	16
株式会社三井住友銀行	47	株式会社滋賀銀行	16
みずほフィナンシャルグループ	44	明治安田生命保険相互会社	15
日本生命保険相互会社	31	株式会社ゆうちょ銀行	15
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	30	京都府	14
三井住友海上火災保険株式会社	28	SMBC日興証券株式会社	14
りそなグループ	28	日本航空株式会社	14
野村證券株式会社	27	大阪府	14
東京海上日動火災保険株式会社	26	京都信用金庫	14
第一生命保険株式会社	26	京セラ株式会社	13
京都中央信用金庫	23	株式会社ワークスアプリケーションズ	13
株式会社大和証券グループ本社	22	株式会社キーエンス	13
パナソニック株式会社	21	京都市	13
三井住友信託銀行株式会社	21	三菱電機株式会社	12
日本郵便株式会社	20	株式会社村田製作所	12
株式会社ニトリ	19	日本電気株式会社	12
株式会社池田泉州銀行	19	株式会社大垣共立銀行	12
三菱UFJ信託銀行株式会社	19	株式会社西日本シティ銀行	12
全日本空輸株式会社	18	三井不動産リアルティ株式会社	12
国税専門官	18	みずほ証券株式会社	12
アクセンチュア株式会社	17	西日本旅客鉄道株式会社	11
大和ハウス工業株式会社	17	積水ハウス株式会社	11
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	17	株式会社紀陽銀行	11
株式会社インテリジェンス	17	株式会社福岡銀行	11

理工系

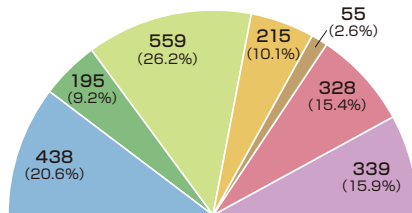
パナソニック株式会社	26	株式会社ジェイテクト	4
トヨタ自動車株式会社	10	武田薬品工業株式会社	4
株式会社日立製作所	10	TOTO株式会社	4
株式会社デンソー	10	シスメックス株式会社	4
三菱電機株式会社	9	株式会社シマノ	4
株式会社村田製作所	9	国家公務員(一般職)	3
マツダ株式会社	8	アクセンチュア株式会社	3
ダイキン工業株式会社	8	株式会社ワークスアプリケーションズ	3
株式会社豊田自動織機	8	ソフトバンク株式会社	3
オリンパス株式会社	8	スミセイ情報システム株式会社	3
TIS株式会社	7	株式会社SCREENホールディングス	3
株式会社野村総合研究所	7	日本電産株式会社	3
本田技研工業株式会社	7	ローム株式会社	3
富士通株式会社	6	ヤフー株式会社	3
川崎重工業株式会社	6	NECソリューションイノベータ株式会社	3
積水化学工業株式会社	6	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	3
セイコーエプソン株式会社	5	九州電力株式会社	3
日産自動車株式会社	5	東洋ゴム工業株式会社	3
株式会社堀場製作所	5	三菱重工業株式会社	3
株式会社きんでん	5	株式会社カネカ	3
京セラ株式会社	4	ソニー株式会社	3
日本電気株式会社	4	三浦工業株式会社	3
西日本旅客鉄道株式会社	4	森永乳業株式会社	3
凸版印刷株式会社	4	イービーエス株式会社	3
関西電力株式会社	4	富士ゼロックス株式会社	3

業種別内定状況

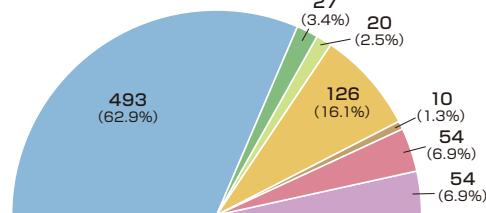
【文科学部・研究科 男子】(人)



【文科学部・研究科 女子】(人)

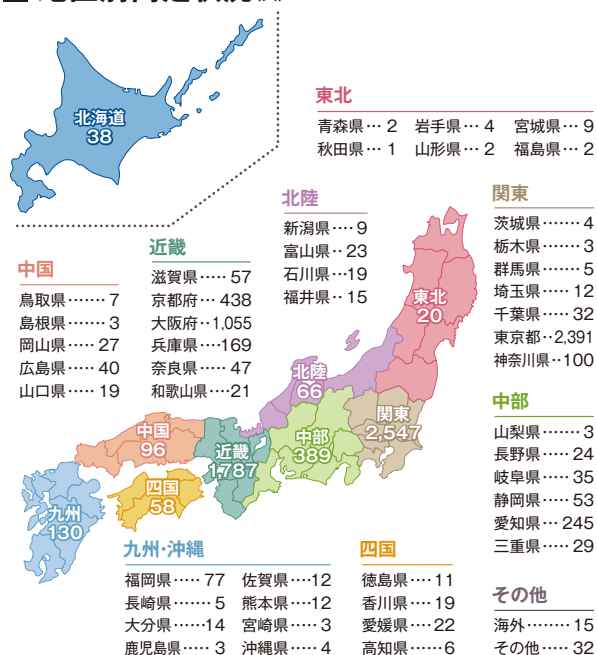


【理工学部・研究科】(人)



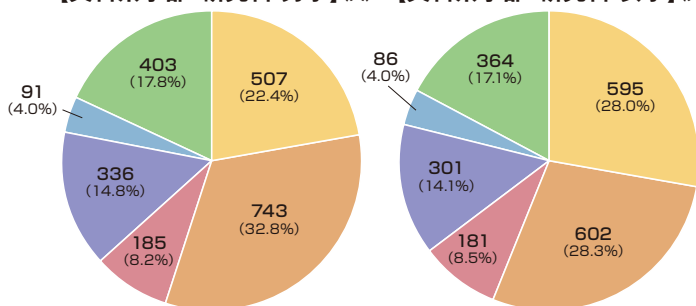
メーカー 流通 金融 マスコミ・情報通信 教育・学習支援 サービス 公共・その他

地区別内定状況(人)

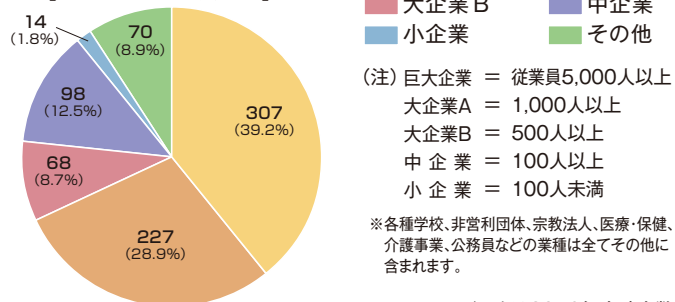


従業員規模別内定状況

【文科学部・研究科 男子】(人) 【文科学部・研究科 女子】(人)



【理工学部・研究科】(人)



巨大企業 大企業A 大企業B 中企業 小企業 その他

(注) 巨大企業 = 従業員5,000人以上
大企業A = 1,000人以上
大企業B = 500人以上
中企業 = 100人以上
小企業 = 100人未満

※各種学校、非営利団体、宗教法人、医療・保健、介護事業、公務員などの業種は全てその他に含まれます。

※データは2016年度確定数

(注1)インターンシップ

インターンシップは、学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことです。本学では正課科目「キャリア形成とインターンシップ」を開講しています。学生が大学で学んだ社会の諸課題と、その問題解決に向けての考え方、専門知識・理念との統合を図り、その経験を通じて、より高い学習意欲を喚起しています。同時に、仕事、職業に対する興味・関心を高め、自らの適性や適職を考える大きな契機となることを願っています。その他にも企業主導型（公募制）のインターンシップもあり、キャリア支援システム「e-career」(<https://career.doshisha.ac.jp/campusweb/>)でその一部を紹介していますので参考にしてください。

参加者の感想



このインターンシップの経験は非常に有意義なものでした。今振り返ってみると、参加してよかったという思いに満ち溢れています。実際に会社でインターンシップを行うことで、自分と社会人との違いが明確にわかり、自分がまだ学生としての甘えがあると感ずることができました。また、この実習の中で自分いかに知識がなく、相手に伝える力が欠如しているかわかったことも大きな成果です。

自分がどのような職に就くことになったとしても、大切なのはその環境の中で自分が何をすべきか何ができるのか考え、実行に移していくことだと改めて気づくことができました。企業分析なども大事ですが、それよりも今の時期に自分を見つめ直し成長できる機会をインターンシップ研修を通じて得ることができたので、これからの就職活動を含め学生生活に生かしていきたいと強く思うようになりました。

初めて社会人の方と交流させていただき、同じ立場に立つことで、臆することなく自らの意見を発信し、自分の疑問や発見をとことん追求する積極性を身に付けることができました。また、それがいかに社会人にとって重要か学ぶことができました。この積極性は、就職活動や社会に出た際の、これからより多くの様々な人と関わり、未知の世界に飛び込む場面において、私の大きな武器になると思います。

海外インターンシッププログラムに参加し、様々な出会いを通して、海外で活躍する方々のチャレンジ精神に満ちた経験談や信念を聞くことができました。目的や理由、経緯は違っても、自分の人生にとって悔いのないような決断をされてきた方々と触れ合えたということは、これまで逃げて安全な選択ばかりしてきた自分にとってはものすごく刺激的で考えさせられるものになりました。

今回の体験は絶対に無駄ではないと言い切れます。様々な体験ができたこともそうですが、何よりいろいろな方と出会い、会話できたことが貴重な経験となりました。普段話さないような方と話すことで、その人の考え方に触れ、自分の価値観を広げることができ、とてもよかったです。

2017年度 大学予算について

マイナス金利の維持や長期金利の誘導による政策が、世界経済の先行き不安や円高リスクへの懸念もある中で、デフレからの脱却による景気回復に効果を発揮するかは未だ不透明である。私立大学は、2015年度の私立大学等における経常的経費に対する経常費補助金の補助割合が44年ぶりに10%を下回り、経営環境はますます厳しさを増している。その上、18歳人口の更なる減少期を目前に控え、多くの私立大学で入学定員増の動きがあるなど、志願者の獲得競争がますます激しさを増すことも予想される。一方、社会からは国の成長を支える能力の高い人物の育成が大学には強く求められている。本学は、これからの社会の負託に応えるべく、教育目標を実現するため、充実した教育を実践し続けていかなくてはならない。

2017年度は、「同志社大学ビジョン2025」の充実に向けた取り組みや、躍動する同志社大学の基盤づくりにも欠かすことのできない財政の安定化に向け、教職員はもとより校友や学生の保護者をはじめとする社会からの支援を得るため、「2025 ALL DOSHISHA 募金」を立ち上げ推進していく。教学面では、ヨーロッパ圏内での広報活動の強化、在外研究員や海外プログラム参加学生への支援、教育プログラムの展開等を目的として、チュービンゲン大学に「同志社大学チュービンゲン EU キャンパス」を開設する準備をすすめる。また、「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」への取り組みは、補助事業期間終了後も予算措置を継続し、「リーディング・プログラム (GRM)」の展開におけるグローバルに活躍するリーダーの養成も引き続き推進していく。

教育研究環境の面では、新教務システムの実質的な運用初年度を迎えるほか、従来の図書館機能に、多面的な学習支援の機能を備えた新しい学習環境を京田辺校地においても展開させる。また、共同利用・共同研究拠点事業の認定を受けた「赤ちゃん学研究センター」など、文理融合の新しい学問領域を発展させていく。学生支援の面では、学生寮の在り方についての検討をさらに進める。また、教育研究の一層の充実発展を図るため、学長のリーダーシップにより必要な経費を適宜執行できるようにする「学長裁量経費」を既予算の組み替えにより創設する。

以上の方針のもと、予算における計画性を重視し、限られた財源を効率的に配分することを大原則として2017年度予算を編成する。

収入の部

学生生徒等納付金は、17年度入学生の学費改定に伴う増収を見込んで計上しているものの、入学金を80千円減額した影響により、前年度に対して2億5千万円減の325億3千万円を計上しています。これ以外の収入については、確実に収入が見込めるもののみを計上しているため（主な増減理由は表1に注記）、**事業活動収入合計は384億1千万円**となり、前年度予算に対して20億1千万円の減収となっています。

第2号基本金取崩額は研究装置の取得資金6千万円を計上しています。

当期固定資産除却額22億5千万円は、固定資産（機器備品）の償却期間完了によるものです。

特定支出準備金取崩額の内訳は、国際連携推

進事業など使途特定準備金の取崩額です。

収入の部合計は408億8千万円となり、前年度予算に対して11億1千万円の減少となります。

支出の部

人件費は、専任教職員の増員等により、前年度に対して7億7千万円増の215億2千万円を計上しています。

事業費は、表1では教育研究経費（減価償却額を除く）、管理経費（同左）、施設関係支出、設備関係支出および予備費に計上されていますが、全体では対前年度比19億7千万円減の総額158億6千万円を計上しています。**経常的経費**については前年度予算を基準として計上し、**管理経費**については極力節減を図っています。**建設事業**では、今出川校地において昇降機及び空調機器の整備等、

京田辺校地においてラーネット記念図書館改修工事等、この他松蔭寮耐震改修工事を計上しています。

徴収不能額等4千万円は、学費および学資貸付金の徴収不能見込額に対する引当金に繰り入れる額です。

第2号基本金組入額6億円は、大学教学施設設備整備資金として理事会で承認された組入計画に基づくものです。

支出の部合計は426億3千万円となり、前年度予算に対して14億5千万円の減少となります。

収支差額の部

収入の部合計から支出の部合計を差し引いた**当年度収支差額**は、**17億5千万円**の支出超過となります。

（本文中の金額については1千万円未満を四捨五入しています）

主な事業

教育研究条件の充実
相互啓発による創造的学力カリキュラム(社会学部・社会学研究科)
社会福祉教育・研究支援センター事業(社会学部・社会学研究科)
企業法務プロフェッショナル育成事業(法学部・法学研究科)
入学前課題実施(商学部・商学研究科)
高大連携教育プログラム実施(商学部・商学研究科)
ソーシャル・イノベーション養成(政策学部・総合政策科学研究科)
政策提案能力を養う理論と実践との交流教育事業(政策学部・総合政策科学研究科)
教育・研究プログラムと地域公共人材大学連携事業(政策学部・総合政策科学研究科)
文理融合型教育による課題解決能力の育成事業(文化情報学部・文化情報学研究科)
語学力向上及びインターンシップの促進(理工学部・理工学研究科)
英語によるプレゼンテーション能力向上及び海外インターンシップの促進(理工学部・理工学研究科)
研究センター連携型オープンフィールド教育事業(心理学部・心理学研究科)
司法研究科の教育支援(アカデミック・アドバイザー制度充実、判例法令DB整備他)
国際認証取得経費(ビジネス研究科)
PBL推進支援センター事業
CASEC実施
先端的教育研究拠点の基盤整備
赤ちゃん学研究センターの共同利用・共同研究拠点化
私立大学研究ブランディング事業実施

教育研究環境の整備
新DUETマニュアル英語対応
スーパー英語バージョンアップによる機能拡充
一般教室AV機器整備
教室マルチメディア環境整備
e-learningシステムリプレイス
講義収録装置更新

学生生活支援の充実
聴覚障がい支援-ICT機器導入
教職員のための「学生相談ハンドブック」新訂版作成
障がい学生就職支援
企業研究セミナー業務委託
外国人留学生借上宿舍新規契約

企画広報活動・管理運営
既存学部・大学院等の広報充実
webによる出願受付システム
地方入試の実施(司法研究科)
地域戦略広告
「志」コンテスト
全国紙広報及び東洋経済オンラインによる情報発信
学長裁量経費
脳科学研究科外部評価実施
奨学金管理システム改修
教務システム改修
事務用パソコンリプレイス

施設設備の整備および維持管理
徳照館 アスベスト対策工事
徳照館 電灯設備更新工事
弘風館 3階トイレ改修工事
継志館 心理臨床センター整備工事
光喜館 吸収式冷温水器整備工事
知源館 改修工事
プール プール槽及びプールサイド劣化対策等整備工事
多々羅キャンパス ゴルフ場ネット整備工事
同志社びわこリトリートセンター 革袋館セミナー室7AVシステム更新工事
同志社びわこリトリートセンター 深山館空調改修工事

建設事業
神楽館 扶桑館・寧静館 北側障がい者用リフト更新工事(今出川)
光塩館 空調機器更新工事(今出川)
光配線ケーブル敷設工事(今出川)
ラーネット記念図書館 改修工事(京田辺)
体育関係倉庫等建替工事(京田辺)
香柏館低層棟 昇降機更新工事(京田辺)
京田辺別館(新館) 昇降機更新工事(京田辺)
至心館 空調機器更新工事(京田辺)
情報メディア館 ICカード入退管理整備工事(京田辺)
ラーネット記念図書館 屋上防水・外壁改修工事(京田辺)
松蔭寮 耐震改修工事

■ 2017年度収支予算書(表1)

2017年4月1日から2018年3月31日まで

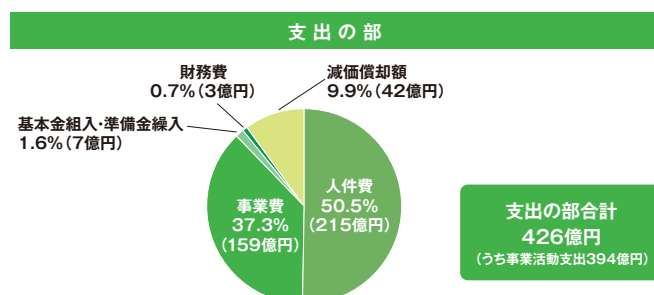
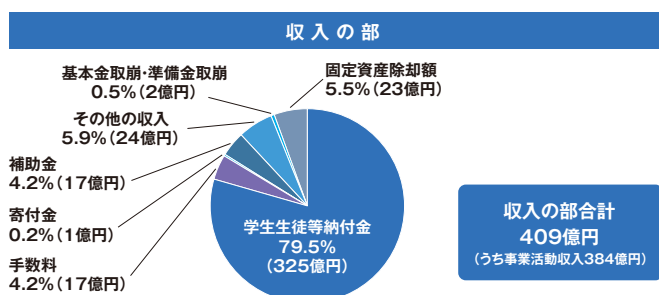
(単位:千円)

収入の部				
科 目	予 算	前年度予算	増 減	主な内訳または増減理由
学 生 生 徒 等 納 付 金	32,533,290	32,783,790	△ 250,500	2017年度入学生学費増額改定
手 数 料	1,732,200	1,732,200	0	入学検定料等
寄 付 金	95,650	270,780	△ 175,130	寄付教育研究プロジェクト研究活動あて寄付金等
補 助 金	1,692,660	3,381,580	△ 1,688,920	経常費補助金、博士課程教育リーディングプログラム等
受 取 利 息 ・ 配 当 金	255,360	304,670	△ 49,310	運用見通しに基づき収納見込み額を計上
資 産 売 却 差 額	0	0	0	
付随事業・収益事業収入	355,400	718,730	△ 363,330	企業からの研究受託に係る受託事業収入等
雑 収 入	1,091,890	675,870	416,020	退職金財団交付金収入等
繰 出 金	523,880	450,520	73,360	法人内諸学校からの資金調達額の返済額等
分 担 金	132,720	108,020	24,700	法人内諸学校からの法人業務に係る分担金
事業活動収入合計	(38,413,050)	(40,426,160)	(△ 2,013,110)	
第2号基本金取崩額	60,000	120,000	△ 60,000	研究装置の取得資金に充当
当期固定資産除却額	2,250,030	1,324,670	925,360	2007年度取得固定資産の一括除却等
借入金等収入	0	0	0	
当期末未払金	0	0	0	
基本金・過年度組入額、未組入額計	(2,310,030)	(1,444,670)	(865,360)	
特定支出準備金取崩額	154,460	121,280	33,180	国際連携推進事業に係る準備金の取崩額等
収入の部合計	[40,877,540]	[41,992,110]	[△ 1,114,570]	

支出の部				
科 目	予 算	前年度予算	増 減	主な内訳または増減理由
人 件 費	21,515,860	20,745,160	770,700	専任教職員の増員等
教 育 研 究 経 費	15,750,800	16,758,590	△ 1,007,790	主な事業参照
消 耗 品 費 他	11,713,730	12,696,950	△ 983,220	
減価償却額	4,037,070	4,061,640	△ 24,570	
管 理 経 費	1,634,860	1,688,460	△ 53,600	主な事業参照
消 耗 品 費 他	1,461,520	1,511,130	△ 49,610	
減価償却額	173,340	177,330	△ 3,990	
借入金等利息	1,470	2,300	△ 830	借入金残高の減少
資産処分差額	12,750	2,510	10,240	
徴収不能額等	42,890	91,090	△ 48,200	
繰入金	162,550	14,930	147,620	
予 備 費	240,000	240,000	0	経理規程（経常勘定における経常勘定事業活動収入の7/1000以上を計上）に基づく
事業活動支出合計	(39,361,180)	(39,543,040)	(△ 181,860)	
施設関係支出	1,416,880	1,834,030	△ 417,150	主な事業参照
設備関係支出	1,023,160	1,540,300	△ 517,140	主な事業参照
借入金等返済支出	38,870	38,870	0	
前期末未払金	40,830	333,150	△ 292,320	
第2号基本金組入額	600,000	600,000	0	計画に基づき大学教学施設設備整備資金の組入額を計上
第3号基本金組入額	0	0	0	
第4号基本金組入額	72,000	63,700	8,300	学校法人会計基準に定める「恒常的に保持すべき資金の額」との差額を組入
基本金・要組入額、当年度組入額計	(3,191,740)	(4,410,050)	(△ 1,218,310)	
特定支出準備金繰入額	77,910	124,810	△ 46,900	
支出の部合計	[42,630,830]	[44,077,900]	[△ 1,447,070]	

収支差額の部			
科 目	予 算	前年度予算	増 減
当年度収支差額	(△ 1,753,290)	(△ 2,085,790)	—
一般支出準備金繰入額	0	0	—
一般支出準備金取崩額	0	0	—
繰入取崩後収支差額	(△ 1,753,290)	(△ 2,085,790)	—
前年度繰越収支差額	[△ 36,152,920]	[△ 34,067,130]	—
翌年度繰越収支差額	[△ 37,906,210]	[△ 36,152,920]	—

■ 収支構成図





文部科学省主催「第6回サイエンス・インカレ」 同志社大学生命医科学部学生3組が表彰!

文部科学省が主催する第6回サイエンス・インカレが、3月4・5日に筑波大学にて開催され、同志社大学生命医科学部から3組が表彰されました。

今年のサイエンス・インカレでは、書類選考を通過した180組(口頭発表46組、ポスター発表134組)が発表を行い、審査の結果15組が表彰されました。荣誉ある同インカレで1大学から3組が表彰されたのは同志社大学だけであり、今回、大きな成果を上げました。表彰者は下記の通りです。

サイエンス・インカレ

文部科学省主催の研究発表会。自然科学分野を学ぶ全国の大学学部学生などが自主研究を発表し、切磋琢磨し合う場を提供することにより、学生の能力・研究意欲を高めるとともに、課題設定能力、課題探究能力、プレゼンテーション能力などを備えた創造性豊かな科学技術人材を育成することを目的として2011年から開催されている。同志社大学からは、過去、第2回、第3回、第4回で表彰者を出している。



■国立研究開発法人科学技術振興機構理事長賞

生命医科学部 医情報学科 1年次生 岡元カノンさん、稲垣沙織さん
発表論文名「新ロウソクの科学：ゆらぎが創り出す規則的なリズム」

■サイエンス・インカレ奨励表彰

生命医科学部 医情報学科 4年次生 谷隅勇太さん
発表論文名「決意するニューロン〜嗅覚系から見た意思決定のメカニズム〜」

■サイエンス・インカレ審査員特別賞

生命医科学部 医生命システム学科 2年次生 新谷祈さん、北林奈々子さん、小杉茉莉佳さん
発表論文名「電位振動でみる生体内現象〜コーヒーと牛乳で新発見?!〜」

(生命医科学部)

体育会表彰式

3月4日、2016年度体育会表彰式が今出川キャンパス同志社礼拝堂で開催されました。

この表彰式は、世界大会、全国大会などで優秀な成績を収めた体育会クラブや個人の功績をたたえて表彰するもので、大学と体育会が共催しています。

福岡敬学長の式辞、大谷實総長より受

賞者をたてる祝辞、沖田行司体育会長・豊原洋治同志社スポーツユニオン会長の挨拶のあと、最優秀部賞(総長杯)、最優秀選手賞(学長杯)を始め、多数のクラブ・個人に賞が授与されました。表彰後は体育会委員長による謝辞、前体育会委員長の答辞、上田雅弘学生支援センター所長による挨拶があり、最後に出席者一同によるカレッジソング斉唱で、式が締めくくられました。

最優秀部賞(総長杯)、最優秀選手賞(学長杯)受賞者は右記の通りです。



●最優秀部賞(総長杯)

射撃部

●最優秀選手賞(学長杯)

ボードセiling部

西上 実彩子(同志社女子大学)

自動車部

仲 健太郎(経済学部)

自転車競技部

中西 健児(政策学部)

カヌー部

橋本 将都(スポーツ健康科学部)

亀谷 智哉(スポーツ健康科学部)

山本 結花(スポーツ健康科学部)

穴戸 美華(スポーツ健康科学部)

空手道部

東海 志保(スポーツ健康科学部)

沖田 理奈(スポーツ健康科学部)

山下 紗葵(スポーツ健康科学部)

日本拳法部

モーリス はなこ(商学部)

ラグビー部

松井 千士(スポーツ健康科学部)

安田 卓平(商学部)

レスリング部

今井 栞海(商学部)

陸上競技部

上野 晃平(理工学部)

ソフトボール部

寺井 美咲(スポーツ健康科学部)

稲岡 桃香(スポーツ健康科学部)

松下 奈央(商学部)

金谷 愛美(商学部)

水泳部

細川 莉瑚(スポーツ健康科学部)

山崎 舞子(スポーツ健康科学部)

射撃部

鶴飼 風音(文化情報学部)

足立 利佐子(スポーツ健康科学部)

卓球部

成本 綾海(商学部)

テニス部

増尾 伶央楠(スポーツ健康科学部)

ヨット部

渡辺 駿(商学部)

三好 雅(文学部)

上野 翔大(文化情報学部)

トライアスロン部

稲葉 大友(スポーツ健康科学部)

※役職は3月4日現在。

(スポーツ支援課)

新入学生歓迎特別講演会「継続は力なり」 太田雄貴氏(フェンシング元世界チャンピオン)

この講演会は、新入学生にスポーツや芸術、文化などの様々な分野の第一線で活躍されている人物に触れる機会を提供し、今後の学生生活を有意義に送るきっかけづくりを目的として毎年開催しています。

今年は4月17日、室町キャンパス寒梅館ハーディーホールにて、「継続は力なり」という演題で、本学商学部卒業生の元フェンシング日本代表太田雄貴さんにご講演いただきました。太田さんは、北京オリンピック男子フルーレ個人で銀メダル、ロンドンオリンピック男子フルーレ団体戦でも銀メダルを獲得され、2015年の世界選手権男子フルーレ個人で優勝されています。また、東京オリンピック招致活動ではプレゼンターとして登壇し、東京オリンピック開催の立役者になりました。

ご自分のフェンシング人生を振り返りながら、「目標をできる限り明確に設定し、その目標までの自分の現在地を把握し、その差を埋めるためにどれぐらいの速度で進むかを明確にせよ、そして泣くほどの努力をすれば、目標を達成した時の感動も大きい」と語られました。

また、「君たちが4年生になった時に開催される東京オリンピックで、君たち一人ひとりに何ができるかを考え、東京オリンピックを最高のものにしよう」と呼びかけられました。

講演後は、参加者からの全ての質問にユーモアたっぷりに答えられ、全員で写真撮影までしていただきました。



参加者からは、「継続は力なりという言葉が身に染みた」「大学4年間をチャレンジの4年にできるように頑張る」「目の前のことに泣けるほど本気でぶつかり、毎日を生きたいと思った」「太田さんのお話を聞いて、同志社大学に入学してよかったと思う」などの感想が多数寄せられ、盛況のうちに講演会は終了しました。

(今出川校地学生支援課)

同志社大学の募金事業

本学では、かねてからご父母、教職員はもとより、広く社会全般に向けて募金のご協力をお願いしてきました。

昨年度は、教育研究活動を展開する施設設備の整備を目的とした「教育研究施設等整備資金募金」、経済的に困窮する学生を支える奨学金制度の資金に充てる「特定寄付奨学金募金」、体育会等各部、各団体・サークルの活動を支援する「スポーツ活動充実資金募金」および「文化系公認団体活動充実資金募金」、次代を拓く情報教育プロジェクトを支援する「同志社ローム記念館プロジェクト・サポート募金」事業を行いました。これに対してご父母、卒業生、法人、教職員など多面からご協力をいただき、集まった資金を活用して所期の事業を実施します。

これも皆さまの深いご理解の賜物と、厚く御礼申し上げます。2016年度の募金事業の実績について、右記「募金事業実績報告書」の通りご報告します。

なお、特定寄付奨学金募金では3月末

までに、卒業生および教職員の方々から右記の通りご協力をいただきました。

本学では個人の皆さまから広くご寄付を募ることを目的にインターネットでの募金を受け付けております。皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

URL <https://bokin.doshisha.ed.jp>

(資金課)

2016年度協力者ご芳名

(2017年2月～3月申込分 順不同 敬称略)

【卒業生、一般、法人、教職員】

615,000円	同志社生活協同組合
ご芳名のみ	三上 保孝
匿名	3人

※教育研究施設等整備資金募金、同志社ローム記念館プロジェクト・サポート募金のご芳名につきましては、別途芳名録を作成し、ご寄付いただいた方々にお送りしています。

2016年度 募金事業実績報告書(2016年4月～2017年3月入金分)

募金事業	寄付件数および金額		使 途
教育研究施設等整備資金募金	在学生、在学生父母	229件 20,097,000円	2016年度に実施した尋真館の耐震改修工事など、施設整備資金として活用。 ■建設事業の詳細は、学校法人同志社発行「事業報告書2016」(同志社大学2016年度の事業実績)に記載しています。
	卒業生、一般、法人	38件 2,309,000円	
	計	267件 22,406,000円	
特定寄付奨学金募金	卒業生、一般、法人、団体	103件 6,745,500円	2016年度に実施した修学支援奨学金および修学特別支援奨学金給付の資金として活用。 給付件数35件、給付総額10,400千円
	教職員	61件 3,338,000円	
	計	164件 10,083,500円	
スポーツ活動充実資金募金 文化系公認団体活動充実資金募金	在学生、在学生父母	1件 100,000円	スポーツ活動および文化系公認団体の活動を充実させ、活動の高度化、活性化を図るための資金として活用。
	卒業生、一般、法人、団体	55件 32,028,000円	
	計	56件 32,128,000円	
同志社ローム記念館プロジェクト・サポート募金	卒業生、一般、法人、団体	2件 3,000,000円	2016年度に実施した同志社ローム記念館プロジェクト(教職員、学生、生徒と産・官・学・地域の連携によるプロジェクト)の支援資金として活用。
	教職員	2件 70,000円	
	計	4件 3,070,000円	

ハリス理化学館 同志社ギャラリー第12回企画展

同志社大学地学研究会創立50周年記念 「新島襄が感じた地球」



同志社大学の文化系公認団体である同志社大学地学研究会(Doshisha Earth Science Association)は本年創立50周年を迎えます。これを機として、地学をキーワードに、同志社の歴史と同志社大学地学研究会50年の活動を通じて同志社における地学の意義を考える企画展を実施いた

します。また同志社大学地学研究会が中心となり、このたび初めて新島旧邸にある化石及び岩石鉱物標本の肉眼鑑定を実施しました。その成果の一部も公開いたします。

【日時】
5月16日(火)～7月9日(日)
10:00～17:00(最終入館は16:30まで)

【場所】
同志社大学今出川キャンパス内
ハリス理化学館同志社ギャラリー2階
企画展示室

【閉館日】月曜日

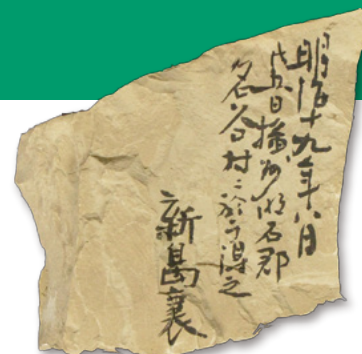
【主催】
同志社大学地学研究会・
同志社社史資料センター
入場無料

〈関連企画〉
公開講演会「新島襄の地球」
聴講無料、事前申込不要

【日時】
7月1日(土)13:00～

【場所】
今出川キャンパス 明徳館1番教室

【講師】
林田明氏(同志社大学理工学部教授)



▲新島襄が採集日と場所を記した植物化石
同志社社史資料センター蔵

展示説明会
参加無料、事前申込不要

【日時】
5月21日(日)13:00～、15:00～
7月1日(土)公開講演会終了後

【会場】
同志社大学今出川キャンパス内
ハリス理化学館同志社ギャラリー2階
企画展示室

【主催】
同志社大学地学研究会・
同志社社史資料センター

【お問い合わせ先】
ハリス理化学館同志社ギャラリー事務局
TEL: 075- 251- 2716

本学教員の執筆図書紹介

図書館調べ(価格は税別)

新修 茨木市史 第三巻 通史Ⅲ
小林文広 他 著 茨木市

**材料表面の親水・親油
の評価と制御設計**
貞包浩一朗 山本大吾 他 著
テクノシステム 48,000円

**幻想と怪奇の英文学Ⅱ
増殖進化編**
下楠昌哉 他 責任編集 下楠昌哉 白川恵子
大沼由布 遠藤徹 川島健 金谷益道
金津和美 臼井雅美 他 著
春風社 3,200円

最強のモチベーション術
太田肇 著 日本実業出版社 1,500円

ケンブリッジ版カナダ文学史
山本妙 他 訳 彩流社 12,000円

行政不服審査法の使いかた
今川晃 他 著 法律文化社 2,400円

**金融商品取引法コンメンタール 1
定義・開示制度**
伊藤靖史 他 著 商事法務 12,000円

証券化と流動性の経済理論
丸茂俊彦 著 千倉書房 3,200円

**海のリテラシー
北大西洋海域の「海民」の世界史**
肥後本芳男 他 著 創元社 3,400円

定性的データ分析
金明哲 著 共立出版 3,800円

英国における高齢者ケア政策
井上恒男 著 明石書店 4,000円

異常心理学大事典
杉若弘子 他 訳 西村書店 8,800円

**ヘイトスピーチは
どこまで規制できるか**
板垣竜太 他 著 影書房 1,700円

自治体政策への提言
真山達志 風間規男 増田知也 他 著
北樹出版 2,000円

社会心理学概論
及川昌典 他 著 ナカニシヤ出版 3,500円

新・判例ハンドブック 刑法総論
十河太朗 他 編 川崎友巳 他 著
日本評論社 1,600円

新・判例ハンドブック 刑法各論
十河太朗 他 編 日本評論社 1,500円

フランス現象学の現在
ヴァンサン・ジロー 服部敬弘 他 著 訳
法政大学出版局 4,200円

現代行政法の構造と展開
横田光平 他 著 有斐閣 21,000円

生産・流通・消費の近世史
佐野静代 他 著 勉誠出版 8,000円

新・注解 商標法 上巻

井関涼子 他 著 青林書院 15,000円

「血」の政治学を越えて菅野優香 水谷智 他 著 東京大学出版会
5,000円**自然に向かう眼**

岸文和 他 著 風媒社 3,500円

**日本留学と東アジア的
「知」の大循環**

竹内理輝 他 著 三和書籍 4,400円

日本の古代山寺

井上一稔 他 著 高志書院 7,500円

高分子科学

東信行 他 著 講談社 2,800円

現代音韻論の動向

吉田優子 他 著 開拓社 3,800円

浅田和茂先生古稀祝賀論文集 上巻松原久利 十河太朗 他 著 成文堂
25,000円**浅田和茂先生古稀祝賀論文集 下巻**川崎友巳 川本哲郎 洲見光男 他 著
成文堂 25,000円**電磁波吸収・シールド材料の設計、
評価技術と最新ノイズ対策**

吉門進三 他 著 技術情報協会 80,000円

確率制御の基礎と応用

辻村元男 他 著 朝倉書店 3,000円

カボチャ頭

藤井光 他 訳 早川書房 3,000円

**ポリマーナノコンポジットの
開発と分析技術**藤井透 大窪和也 他 著
シーエムシー出版 64,000円**連邦制の逆説？**

鈴木絢女 他 著 ナカニシヤ出版 3,800円

日本法の舞台裏

山下友信 他 著 商事法務 4,600円

ダイバーシティ時代の行政学

風間規男 他 著 早稲田大学出版部 3,500円

司法権の法哲学的研究

濱真一郎 他 著 日本評論社 5,700円

ヒト・仕事・職場のマネジメント

谷本啓 他 著 ミネルヴァ書房 3,000円

隣国の肖像

小川原宏幸 他 著 大月書店 3,200円

**高校倫理の古典でまなぶ
哲学トレーニング2**

沖田行司 他 著 岩波書店 1,200円

**有斐閣判例六法Professional
平成29年版**

山下友信 他 編 有斐閣 5,400円

明治維新と思想・社会

小林丈広 他 編 著 有志舎 3,400円

東アジア高度成長の歴史的起源福岡正章 他 著 京都大学学術出版会
4,800円**事例研究 行政法 第3版**佐伯祐二 横田光平 他 著 日本評論社
3,500円**演習国際私法 CASE30**

高杉直 林貴美 他 著 有斐閣 3,400円

政策実施の理論と実像真山達志 編 真山達志 他 著
ミネルヴァ書房 3,500円**中小企業課税**

田中治 他 著 日本租税理論学会 2,800円

メタデータとウェブサービス

原田隆史 他 著 勉誠出版 1,800円

**浜矩子の歴史に学ぶ
経済集中講義**

浜矩子 著 集英社 1,300円

新時代の刑事法学 上巻

洲見光男 他 著 信山社 14,000円

新時代の刑事法学 下巻奥村正雄 川崎友巳 川本哲郎 他 著
信山社 16,000円**注釈フランス民事訴訟法典
特別訴訟・仲裁編**

徳田和幸 他 編 訳 信山社出版 10,000円

萬年社四十年史要

竹内幸絵 解説 ゆまに書房 18,000円

ビジュアル大百科 聖書の世界

北村徹 他 訳 明石書店 30,000円

陶芸考

清水稷 著 現代思潮新社 2,200円

説話の中の僧たち

廣田収 他 著 新典社 2,400円

有権者のリスク態度と投票行動

飯田健 著 木鐸社 2,500円

ハンドブック**日本近代文学研究の方法**

瀬崎圭二 他 著 ひつじ書房 2,600円

株式の計量分析入門

津田博史 他 著 朝倉書店 2,800円

法理論をめぐる現代的諸問題濱真一郎 戒能通弘 他 著 晃洋書房
6,800円**グローバル・サウスとは何か**

秋林こすえ 他 著 ミネルヴァ書房 3,500円

ラテンアメリカの市民社会組織宇佐見耕一 他 編 著 アジア経済研究所
3,300円**ニッポンが変わる、女が変わる**

浜矩子 他 著 中央公論新社 720円

日本語文法史研究 3

藤井俊博 他 著 ひつじ書房 3,200円

中国経済入門 第4版

嚴善平 他 著 日本評論社 2,600円

弁論家の教育 4伊達立晶 他 訳 京都大学学術出版会
3,400円**京都を知る100章**

岩坪健 他 著 平凡社 1,400円

ジョイスの迷宮

下楠昌哉 他 著 言叢社 2,600円

**都市祭礼文化の継承と
変容を考える**

石田信博 他 著 ミネルヴァ書房 5,000円

**ラネカーの(間)主観性と
その展開**

長谷部陽一郎 他 著 開拓社 4,600円

フィリピンを知るための64章

木場紗綾 他 著 明石書店 2,000円

労働契約法 第2版

土田道夫 著 有斐閣 6,900円

政治変動期の圧力団体

森裕城 他 著 有斐閣 3,500円

家事事件手続法 第3版

徳田和幸 他 編 著 有斐閣 5,500円

マレー数理生物学 応用編

川崎廣吉 他 監修 丸善出版 9,200円

国家を超える宗教

田中治 他 著 東方出版 2,200円

日本の国際関係論大矢根聡 編 大矢根聡 森靖夫 他 著
勁草書房 5,000円**刑法総論判例50!**

十河太朗 他 著 有斐閣 1,800円

Messages from International Students

留学生紹介



アネシャ・ティースボーネンカンブ さん

2016年10月～2017年9月

文化情報学部特別留学生(ドイツ出身)

私はインドネシア生まれ、タイとのハーフのドイツ人です。それだけで十分国際的だと言われるかも知れませんが、さらに日本学も学んでいます。そのきっかけは高校を卒業後に、気まぐれで日本へ旅行しようと思ったことでした。日本語の能力や日本の知識がないだけでなく、一人暮らしに必要な能力である料理や洗濯さえできませんでした。ワーキングホリデーを使って日本で十カ月過ごしました。多くの問題にぶち当たったのはもちろん、それなのに何よりも日本が大好きになり、人生が味わい深くなったと感じています。帰国してからは、それまで勉強しようと思っていた生物学の代わりに

In Indonesien geborener, halb thailändischer Deutscher. Man könnte sagen, dass das schon international genug sei, aber oben drein studiere ich noch Japanologie. Das kommt daher, dass ich nach der Schule aus einer Laune heraus beschloss, nach Japan zu reisen. Ohne irgendwelche Japanischkenntnisse oder Fähigkeiten zum selbstständigen Wohnen zu besitzen, ich konnte weder kochen noch eine Waschmaschine bedienen, machte ich mich auf zu einem zehnmonatigen Work & Travel Aufenthalt in Japan. Obwohl ich natürlich vielen Problemen begegnete, lernte ich aber vor allem auch das Land zu lieben, was mein Leben ordentlich aufmischte. Nach meiner Heimkehr wurde aus dem geplanten Biologiestudium ein Japanologiestudium. Und ich setzte mir das Ziel, ein weiteres Mal nach Japan zu gehen, was sich mit dem Austauschjahr an der Doshisha Universität erfüllte. Momentan genieße ich die Zeit in hier in vollen Zügen. Ich konnte in eine andere Kultur eintauchen, wichtige Erfahrungen sammeln und neue Freunde finden. Dafür reise ich am liebsten gewappnet mit meiner Kamera kreuz und quer durch die Gegend.

Ich weiß noch nicht genau, was die Zukunft für mich bereithält, aber ich habe das Gefühl, dass es mich für längere Zeit nach Japan verschlagen wird.

Meinen Kommilitonen möchte ich nur mitteilen, dass sie ruhig den Mut haben sollen, neue Dinge auszuprobieren. Irgendwie wird es schon gutgehen!

Anescha Tiesbohnkamp

日本学を選び、また日本に行くことを目指しました。そしてその望みは同志社大学への交換留学で叶いました。今は、日本での生活を本当に楽しんでいます。外国の文化に触れたり、貴重な体験をしたり、新しい友達もできました。私はそのためにあちこちへ旅し、写真を撮るのが好きです。

将来、どこに行き着くかはまだよくわかりませんが、日本で長い時間を過ごす気がしています。

同志社大学の学生の皆さん、新しいことを試す勇気を持って下さい。がんばれば何とかなるものです！

アネシャ・ティースボーネンカンブ

INTERVIEW

同志社人 訪問

北原 一平 さん
〔1993年 法学部法律学科 卒業〕

祖父江 亮吾 さん
〔理工学部インテリジェント情報工学科 3年次生〕



釣り雑誌『Walton』編集発行人 北原 一平 さんに聞く

40歳の時に独立して出版を核にした編集プロダクションを設立し、世界的に名高い釣聖アイザック・ウォルトン卿の名を誌名にした釣り雑誌を創刊。釣りの世界に全てを注ぐ北原 一平さんに在学生在が取材しました。

今回の同志社人

北原 一平 さん

〔1993年 法学部法律学科 卒業〕

きたはら・いっぺい 1969年生まれ、神戸市出身。本学卒業後、出版社編集局に勤務。文化誌や一般書の編集を長年にわたって手がけた後、独立して雑誌『Walton』の編集発行人として活躍中。

今回のインタビュアー

祖父江 亮吾 さん

〔理工学部インテリジェント情報工学科 3年次生〕

そぶえ・りょうご 大阪府交野市出身。高校時代に経験した交通事故をきっかけに安全性を追求する「自動運転」の研究開発に関心を抱き、本学科を選択。アルバイトを通じて知ったハウスメーカーの営業職にも興味があり、就職分野を熟考中。釣りには小学校の頃から親しみ、現在、本学の釣研究会会長を務めている。

眼下に海が広がる須磨に住んだ少年の頃から釣りに熱中

祖父江 釣りには少年時代から親しんでおられたのですか。

北原 小学生の頃に父親から手ほどきを受けたのがきっかけで始めました。せがんで何度も連れて行ってもらいました。当時、『週刊少年マガジン』（講談社）に連載され、大ヒットした矢口高雄さんの『釣りキチ三平』を耽読し、釣り三昧の日々を過ごすようになりました。ブラジルやアマゾン川など世界を股に掛けた釣り師としても名高い作家開高健さんのベストセラー『オーパ!』（集英社）など

も同時に発表され、むさぼるように読みました。残念ながら、出会いの機会を得ることはできませんでしたが、心から敬愛しています。子どもの頃は、淡路島が眺望でき、眼下に船舶が行き交う須磨の鉢伏山の東方に住んでいましたので、瀬戸内海には格別の思い出があり、今でも釣りに出かけています。

祖父江 入学後は釣研究会に所属されたのですか。

北原 4年間、仲間と釣りを満喫しました。集まって語り始めると、もう止まらない。時が経つのを忘れて話し込んでいました。特に「合宿」が楽しかった。春とか、夏に3泊4日から



自然と深く交響する「大人の時間」を大切にしたい

1週間ほどの日程で、近場では琵琶湖、遠征なら四国の山奥などにも出かけました。その時の仲間の弾けるような笑顔を、昨日のこつのように思い出します。本当に懐かしい。憧れの京都で、学生生活ができることも、うれしかった。3年次生の春に今出川校地で学ぶために、出町柳の5畳一間の古いアパートに引っ越しました。ここで喫茶店「ほんやら洞」でのアルバイトを見つけ、それからのご縁で現在も「西陣ほんやら洞」のご主人には何かとお世話になっています。

祖父江 卒業後に進まれた出版業界は当初からの志望ですか。

北原 俳句を嗜んでいた父親の影響もあって、この業種に絞り込み、他業界は受けていません。運にも恵まれて、志望していた出版社の編集の仕事に就くことができました。そこで月刊の文化誌を皮切りに、様々な一般書籍の企画・編集にも携わりました。今日につながる貴重な経験が得られたことに深く感謝しています。一方で販売も担当し、優れた書籍を世の中に送り出すためには、営業力

が欠かせないことも身を持って知りました。京都の伝統文化の世界を編集者の視点から学べたことも大きな糧になりました。

ライフワークを熟考した時 最後に残ったテーマが「釣り」

祖父江 編集発行人として独立された経緯を教えてください。

北原 編集の世界で仕事をされている方々は、それぞれ専門分野を日々探究し、深めておられます。そのす



ごさを実感した時、「自分には何ができるのか」、「何を目指せばよいのか」と考えたわけです。生半可なことでは太刀打ちできない。熟考した結果、最後に残ったテーマが「釣り」でした。この業界に入った当初から漠然とではありますが、いつか独り立ちしたいという思いもあり、先端のDTP(机上型電子編集システム)を駆使すれば、少人数での編集作業も可能だという判断も新たな一步を踏み出す後押しになりました。40歳の時に18年間勤めた出版社を退職し、2011年の秋にウォルトン舎を京都で設立しました。釣り雑誌『Walton』の出版を核とした編集プロダクションです。琵琶湖を中心に、西日本で大人が楽しめる釣りの世界をテーマにした専門誌を目指して、翌年の春に創刊準備号、夏に創刊号を発行しました。創刊に向けて、同志社大学釣研究会を創部され、業界情報誌の編集などに携わり、数多くの関連書籍の著者でもある大先輩の八木禧昌さんにも何かと手助けしていただきました。

祖父江 誌名の由来や本誌に託された思いを聞かせてください。

北原 誌名は釣り師のバイブルとたたえられ、世界各国で出版されてきた名著『釣魚大全』(1653年出版)の著者であるイギリスの釣聖アイザック・ウォルトン卿から名づけました。独立前に、大変お世話になった釣具店のご主人からこの名作を頂戴し、深い感銘を受けました。時代や人生に対する超然とした姿勢、釣りへの純粋な愛情、静謐な文章の全てが心にしみました。若い頃に読みかけたことはあったのですが、当時はその素晴らしさを感じできなかったのです。本誌のコンセプトは、「静かな大人の釣り」です。例えば、釣りをしながら湖面をわたる澄んだ風を感じ、海原のおやかな波に身を任せていると、次第に心が解き放たれ、身体の奥深くから元気が甦ってくる。慌ただしい日々の中で、自然と深く交響する心の時をもっと大切にしたい。「たかが釣り、されど釣り」だと思っています。

祖父江 特集を始めコンテンツは全て一人で考えられるのですか。

北原 毎号、100% 自分で発想しています。「テーマはフィールドにある」という考えを貫いています。パソコンの前で唸っていても、いい企画は生まれないと思う。とにかく、釣りに赴き、人に会い、話しかける。変な人だと怪しまれることも少なくありませんが…(笑)。また、釣りは自然が相手なので、上手いかわないこともあります。他誌では釣れなかった場合は、まず掲載しませんが、本誌は「挑戦したけれど、釣れなかった…」と正直に記事化します。思い通りにならないのも釣りだということを伝えたい。それも含めて楽しんで欲しいのです。

『Walton』ならではの視点で釣りの文化の深化に尽くしたい

祖父江 ライフワークに挑む日々は充実していますか。

北原 無謀なことを始めたことは、当初から重々承知していました。気がつくと6年の歳月が経っていたという感じです。年に2〜3冊ほど刊行するという計画を守りたくて、いつも時間に追われています。でも、最新号が仕上がった時の感慨、その充実感は格別です。読者の方々からも数多くの「声援」が送られてきます。「記事に共感した…」、「頑張ってくれ…」といった熱いメッセージを読むと、心が震えます。本誌を媒体にした素敵な人々との出会いは、かけがえない私の財産です。また、淀川水系の環境保全に力を注いでおられる多くの方々のご尽力で、天然の鮎の遡上に改善の兆しが見え始めたことを、継続的な取材を通じて知りました。このような感動が得られるのも、この仕事を続けているからです。これからも、琵琶湖を中心に、西日本で楽しめる釣りを『Walton』ならではの視点で捉え、多彩に発信し、釣りの文化の深化に少しでも貢献できればと願っています。

祖父江 同志社大学での学びについて聞かせてください。

北原 新島襄先生のことは、入学以前から存じており、幕末に日本の将来を憂い、鎖国の禁を犯してアメリカを目指した果敢な行動力に感服していました。その同志社大学で学べることに感激しました。大学では単位の取得のために、多数の書籍や資料を読み解く必要がありますが、それがいつしか苦にならなくなり、大学の図書館へ通ううちに、「学問への憧れ」が芽生えてきました。釣りでも魚の生態、潮の満ち引き、水辺の環境など探究しなければならないことは多々あり、学生時代に培われた学びへの積極的な姿勢が大きく役立っています。また、これまでの経験から後輩の皆さんに伝えたいのは、人生の歩みに回り道はあっても、それが無駄にはならないということです。必ず役立つ日が来ます。ですから、迷った時には、思い切って新たな世界に踏み出すという選択もあると思います。常に全力で挑み続ければ、自分を開花させる道が見えてくるかもしれません。そして、人との出会いを大切にしてください。私自身も本学の釣研究会で胸襟を開いて語り合い、共に釣りに興じた仲間は生涯の友になりました。社会に出てからも、実に多くの方々に支えられて今日があります。



『Walton』は、琵琶湖淀川水系と関西エリアの釣りの魅力を紹介している。京都・滋賀・大阪の釣具店や全国の書店等で販売中。

HP <https://www.waltonsha.com>

インタビューを終えて

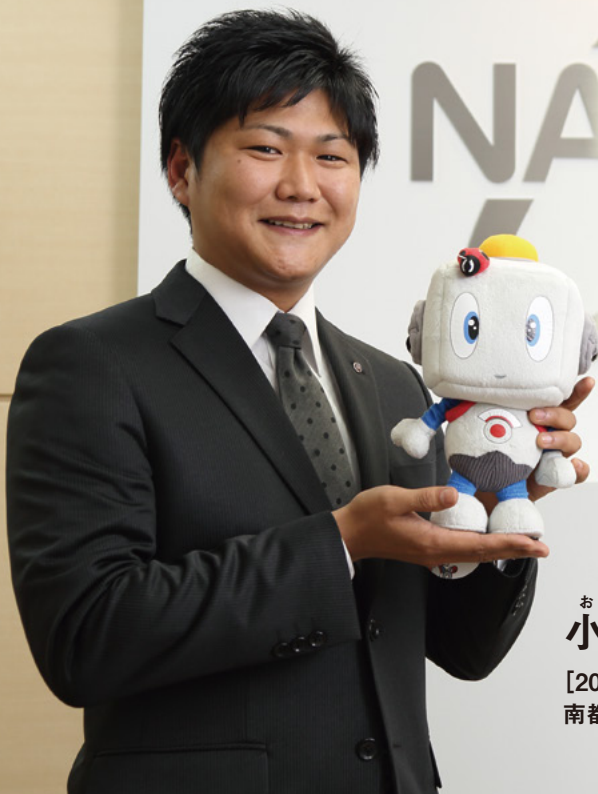


妥協することなく、
自分の夢に向かって
挑み続けておられる姿に
深い感銘を受けました

インタビューー
祖父江 亮吾 さん

【理工学部インテリジェント情報工学科 3年次生】

「本を作りたい」という少年の頃の夢を追い続けて、出版社の編集の仕事に携わり、そのキャリアを礎に40歳で独立してライフワークの専門雑誌を発刊されたことに、大きな感銘を受けました。私も中学生時代にプロの釣り師を夢見た時があっただけに、北原一平さんのような生き方には憧れを感じます。また、釣りの現場を始めとして大学時代から人との出会いを何よりも大切にしておられる姿勢も素晴らしい。釣研究会の大先輩にお会いし、貴重なお話をお聞きできて、本当に感謝しています。これからもいろいろと教えていただければと願っています。



NANTO

My Job, My Life

おぐら かずや
小倉 和也さん

[2008年 経済学部卒業]

南都銀行 尼崎支店 法人渉外担当

志望していた法人営業の第一線で全力を尽くす 何よりも大切にしているのはお客様の信頼を得ること

One day on the job



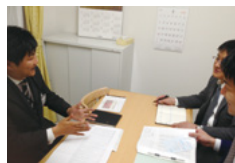
08:30

朝のパソコンチェック→
各部署からの通達や
本日の訪問先等を
手早く確認。
効率いい外回りは
事前準備が命です。



09:00

渉外活動出発→
尼崎支店は南都銀行の
国内拠点の西端ですので、
比較的良好なエリアを
担当しています。



10:00

得意先訪問→
既にお取引いただい
ているお客様へ訪問。
この日は資金関係の
ご相談と業務効率化に
関する話を
みっちり行いました。



14:00

新規先訪問→
2年間通い詰め、
コツコツ信頼関係を
築いた新規のお客様から、
融資の提案を
許可いただきました。



16:00

ミーティング→
資料を整理して早速
店内でのミーティングに。
説明にも力が入ります。

就職活動を始めた当初は、様々な業界を視野に入れていました。志望した職種は営業のような「人と向き合う」仕事です。最終的に金融の分野に絞った理由は、業種を超えて多彩な法人に接することができ、各企業の伸展に精一杯尽くす中で、自身も多くの学びが得られ、社会人として日々成長できると考えたからです。特に地域に根差した会社をお客様とする地方銀行に魅力を感じました。南都銀行に就職したのは、その対応に、他の銀行では感じることはできなかった格別の温かみを感じたからです。説明会の時の篤実な姿勢や企業案内にも深い感銘を受けたからで、採用の通知があった時は、迷うことなく即決しました。

入社時に配属されたのは京都支店です。当時の支店長は同志社高校・大学の大先輩で、銀行員の心構えを一から教えていただきました。新入行員研修時の「今日一日を生きることが一歩成長することでありたい(松下幸之助)」という教訓も心に響きました。出納、窓口、融資事務を経て、念願の法人営業の仕事に就くことができました。3年半後に転勤した京田辺支店でも金融

サービスやコンサルタント業務に従事し、その後、現在の勤務先である尼崎支店でも法人向けの営業に励んでいます。

私が仕事で何よりも大切にしているのは信頼を得ることです。すぐにビジネスの話をするのはではなく、まず、お客様のパーソナリティを感じ、最重視されていることを見極め、役に立てることを懸命に考えます。自分を積極的に開示することも重要です。「目標・数字」の達成は任務ですが、一番うれしいのはお客様と揺るぎない信頼関係を築けたと実感できた時です。激変する時代を背景に、銀行業界も大きな変化が求められています。その中で私が指針にしたいと思っているのが、同志社大学の先輩で、元プロ野球選手の宮本慎也氏の言葉です。「だめだったら、変えてみるのは簡単に見えてとても勇気がある」。長く第一線で活躍し、抜群のリーダーシップを発揮した超一流選手だけに、この言葉は示唆に満ちています。在学生の方々が社会に挑む時も、自身のこれまでの成功等に拘り過ぎず、壁に直面した時には悩みながらも自分を変える勇気を持ってほしいと願っています。

私と「仕事」

第74回

学生時代からの夢を追い続け、
多彩な分野で活躍する卒業生を訪ね
仕事に挑む熱い思い、今後の目標などをインタビュー。
その姿が学生の皆さんの
将来のキャリア・プランに役立てば幸いです。

つじむら さより
辻村 沙世理さん

[2003年 神学部卒業]
株式会社モトックス
大阪営業部
関西業務チーム チーフ



限りなく深いワインの世界を探り続け 極上の美味で、微笑みを咲かせ、心と心を結びたい

モトックスは国内有数の輸入ワイン
商社で、現在約2千におよぶ各国の銘
柄を扱っています。1915年の創業以来、
酒類販売の業務を続け、1996年にワ
インの直輸入を開始しました。高品質
を厳守するために、毎週月曜日に社内
試飲会を行い、ソムリエなどの資格を
持つ仕入れ担当者などが厳格な審査を
実施しています。私は2006年に入社
し、今年で11年目を迎えました。振
り返ると、モトックスに到るまでの歩
みは、3年次生の秋学期にアメリカに
留学した時に始まりました。

語学留学を経てノース・シアトル・
コミュニティ・カレッジ(2年制公立
大学)に入学。料理を学ぶカリナリー
アートを選択したのですが、予想外の
内容で一時は退学も考えました。芸術
的なものとはほど遠い調理の基礎を修
得する学部だったからです。しかし、
先生の助言で思い止まりました。その
頃、日本の情報誌で知った著名なイタ
リア料理の落合務シェフ(東京・銀座
「ラ・ベットラ」)に感銘を受け、午後
は地元のイタリアンのお店で料理を学
びました。帰国時にご主人から「本場
の料理を体験してきなさい…」とアル

バイト料代わりに航空券を頂戴し、1
カ月半ほどイタリアに滞在。「絶対に
料理人になる!」と決意し、落合シェ
フに熱烈なファンレターを送りました。

帰国後、落合シェフとお会いするこ
とができ、「おお、君か!いつから店に
来る?」ということになり、「ラ・ベッ
トラ」のホール係として働き始めまし
た。それから1年ほど経った頃、「私
は美味を通じたサービスの方が向いて
いる…」と気づき、その流れの中でワ
インにも興味を持つようになったので
す。思い立ったら、すぐに行動するタ
イプなので、地元の大阪に帰り、働き
ながらソムリエの資格を取得。地元の
企業であるモトックスに、ぜひとも就
職したかったので、キャリア採用に申
し込みをしたところ、「まずは内勤で
よければ」と採用されたのです。数カ
月後には、志望していた営業の仕事に
就くことができました。昔から料理や
人間が大好きで、「美味で人々を微笑
ませ、心と心を結ぶことができれば…」
と願っていました。その熱い思いがワ
インの仕事に携わることで叶いました。
どこまでも、この道を歩み続けたいと
思っています。

One day on the job



🕒 09:00

出勤したら、まずメールの
チェック。業務フォローを
している営業さんの発注や
見積りのメールに対応します。



🕒 11:00

今日は得意先で
試飲会の日なので、
ワインや備品を車に積込み
準備です。ちょっとバタバタで
お昼の時間が取れなさそう…



🕒 13:00

会場のセッティングが
終わったらワインのチェック。
ワインが健全かどうかを確認し、
味わいを記憶してお客様への
アピールポイントを探します。



🕒 14:00

試飲会スタート。
ワインを、より美味しく、
より魅力的に感じて
いただけるよう、
生産者のこだわりや思いを
写真や資料も使って、
わかりやすくお伝えします。



🕒 19:00

試飲会が終わったら
ダッシュで保育園へ、
2歳になる娘のお迎え。
今日は娘に卵をかき混ぜる
お手伝いをしてもらって、
夕飯はオムライスです。



応援に行こう! 体育会試合日程

【アーチェリー部】

- 7月1日(土)・2日(日)
第56回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦 第52回全日本学生アーチェリー女子王座決定戦
はらっパーク宮代(埼玉県)
- 8月7日(月)～9日(水)・16日(水)～18日(金)
第57回関西学生アーチェリーターゲット選手権大会 服部緑地陸上競技場(大阪府)
- 8月22日(火)・23日(水)
第39回関西学生アーチェリーフィールド選手権大会 白梅スポーツクラブ(京都府)
- 9月7日(木)～9日(土)
第56回全日本学生アーチェリー個人選手権大会 服部緑地陸上競技場(大阪府)

【アメリカンフットボール部】

- 6月4日(日) 定期戦 同社大学京田辺グラウンド(京都府) 天理大学 13:30

【バドミントン部】

- 6月11日(日)～13日(火)・15日(木)・16日(金) 関西学生選手権
大阪市中央体育館(大阪府)ほか
- 8月8日(火)・9日(水) 全日本学生バドミントンミックス選手権大会
千葉ポートアリーナ(千葉県)
- 8月27日(日)～9月4日(月) 西日本学生バドミントン選手権
北九州市立総合体育館・浅生スポーツセンター・若松体育館(福岡県)
- 9月11日(月)・13日(水)・14日(木)・16日(土)・17日(日)
関西学生バドミントン秋季リーグ戦 大阪市中央体育館(大阪府)ほか

【馬術部】

- 7月1日(土)・2日(日)
第60回関西学生賞典総合馬術大会 第42回関西学生複合馬術大会
三木ホースランドパーク(兵庫県)
- 7月16日(日)
第52回関西学生賞典障害馬術大会 第52回関西学生賞典馬場馬術大会 三木ホースランドパーク
- 7月16日(日)・17日(月・祝)
第55回関西学生馬術選手権大会 第53回関西学生馬術女子選手権大会 三木ホースランドパーク
- 8月26日(土)・27日(日) 第49回関西学生自馬馬術大会 鶴見緑地乗馬苑(大阪府)

【バレーボール部(女子)】

- 9月9日(土)～10月22日(日) 2017年度関西学生バレーボール秋季リーグ戦

【ボードセーリング部】

- 6月3日(土)・4日(日) 2017琵琶湖マリンカップ
琵琶湖/滋賀県近江八幡市牧町水茎の岡 WEB BEACH CLUB
- 6月10日(土) 関西選手権第一戦 兵庫県西宮市甲子園浜
- 6月17日(土) MID CUP2017 静岡県浜松市浜名湖大崎ビーチスマリーナ
- 6月25日(土) セタカップ
- 7月1日(土)・2日(日) テクノクラス中部選手権大会 愛知県新舞子海岸
- 7月9日(日) 伊勢湾カップ予選 愛知県新舞子海岸
- 7月15日(土)・16日(日) DREAMカップ 神奈川県横須賀市津久井浜
- 8月5日(土)・6日(日) 伊勢湾カップ 愛知県新舞子海岸
- 8月18日(金) 関西新人大会 滋賀県彦根市松原
- 8月20日(日) 名古屋港ボード天国ナゴヤチャレンジカップ 名古屋港ガーデン埠頭沖合い
- 9月16日(土)・17日(日) 関西選手権第二戦 愛知県新舞子海岸

【ボクシング部】

- 6月4日(日)・11日(日)・25日(日) 第71回関西学生ボクシングリーグ戦
関西大学ボクシング場

【ボート部】

- 6月10日(土)・11日(日) 西日本選手権大会 浜寺漕艇センター(大阪府)
- 6月18日(日) 京都府国体予選 琵琶湖漕艇場
- 7月1日(土)・2日(日) 関西選手権大会 浜寺漕艇センター(大阪府)
- 7月15日(土)・16日(日) 東日本選手権大会 戸田ボートコース(埼玉県)
- 7月16日(日) 国体近畿ブロック予選大会 琵琶湖漕艇場
- 8月31日(木)～9月3日(日) 第44回全日本大学選手権大会 戸田ボートコース(埼玉県)
- 9月2日(土)・3日(日) 第57回オックスフォード盾レガッタ 戸田ボートコース(埼玉県)

【ボウリング部】

- 6月4日(日) 関西学生ボウリング春季リーグ戦 キョーイチボウル宇治(京都府)

【フェンシング部】

- 6月4日(日) 2017年68回全日本学生王座決定戦 豊橋市総合体育館(愛知県)
- 9月19日(火)～24日(日) 関西学生フェンシング大会
豊橋市総合体育館(愛知県)

【フィギュアスケート部】

- 8月10日(木)～13日(日) げんさんサマーカップ2017 滋賀県立アイスアリーナ

【ゴルフ部(女子)】

- 8月7日(月)～9日(水) 関西女子学生選手権 有田東急ゴルフクラブ(和歌山県)

- 9月11日(月)・12日(火) 関西学生女子秋季1部校学校対抗戦

芦屋カントリー倶楽部(兵庫県)

- 9月20日(水)・21日(木) 関西学生女子会長杯 大甲賀カントリークラブ(滋賀県)

【居合道部】

- 7月9日(日) 第34回西日本学生居合道演武大会 龍谷大学深草キャンパス体育館
- 6月24日(土)・25日(日) 平成29年度全日本学生柔道優勝大会 日本武道館(東京都)
- 7月9日(日) 近畿ジュニア体重別選手権大会 兵庫県立武道館
- 9月3日(日) 関西学生柔道体重別選手権大会 天理大学(奈良県)
- 9月9日(土)・10日(日) 全日本ジュニア体重別選手権大会 埼玉県立武道館
- 9月30日(土)・10月1日(日) 全日本学生柔道体重別選手権大会 日本武道館(東京都)

【カヌー部】

- 6月24日(土)・25日(日) 京都府カヌースプリント選手権 滋賀県立琵琶湖漕艇場
- 8月9日(水)～12日(土) 関西学生カヌースプリント選手権 兵庫県音水湖
- 8月22日(火)～27日(日) 全日本学生カヌースプリント選手権
木場湯カヌー競技場(石川県)

【空手道部】

- 7月2日(日) 第61回全日本学生空手道選手権大会 大阪市中央体育館
- 9月3日(日) 第9回関西学生空手道オープントーナメント 近畿大学記念体育館

【弓道部】

- 6月10日(土)・11日(日) 第61回関西学生弓道選手権大会
神戸グリーンアリーナ(兵庫県)
- 8月12日(土)～14日(月) 第65回全日本学生弓道選手権大会
神戸グリーンアリーナ(兵庫県)

【日本拳法部】

- 6月11日(日) 第19回西日本学生拳法個人選手権大会
吹田市立武道館(洗心館)(大阪府) 11:00
- 7月16日(日) 第40回全日本拳法総合選手権予選会
吹田市立武道館(洗心館)(大阪府) 10:00
- 9月24日(日) 第40回全日本拳法総合選手権大会(個人) 大阪市中央体育館 9:30

【ラクロス部(男子)】

- 8月11日(金・祝) リーグ戦開幕式 鶴見緑地球技場(大阪府)
- 9月4日(月)・7日(木)・11日(月)・14日(木) サマーステージ
舞洲運動広場(大阪府)

【ラグビー部】

- 6月4日(日) 伊那市招待試合 伊那市陸上競技場(長野県) 対戦相手 大東文化大学
- 6月18日(日) 同立戦 江戸川陸上競技場(東京都) 対戦相手 立教大学
- 6月25日(日) 同志社ラグビー祭 同志社大学京田辺ラグビー場 対戦相手 天理大学
- 7月2日(日) ジャパンセブンズ2017 秩父宮ラグビー場(東京都)
- 9月2日(土) 定期戦 NTTドコモグラウンド(大阪府) 明治大学
- 9月3日(日) 定期戦 同志社大学京田辺ラグビー場 対戦相手 京都大学

【陸上ホッケー部(男子)】

- 6月4日(日) 平成29年度関西学生ホッケー春季リーグ
甲南大学グラウンド 10:00 対戦相手 京都産業大学
- 6月17日(土) 平成29年度関西学生ホッケー春季リーグ
瑞穂ホッケー場(京都府) 11:40 対戦相手 神戸大学
- 6月24日(土) 平成29年度関西学生ホッケー春季リーグ
瑞穂ホッケー場(京都府) 10:00 対戦相手 大阪大学

【サッカー部】

- 6月4日(日) 2017年度第95回関西学生サッカーリーグ
同志社大学京田辺グラウンド 13:00 対戦相手 大阪教育大学

【ソフトボール部(男子)】

- 7月7日(金)～10日(月) 第49回西日本大学選手権大会 宮崎県宮崎市他
- 9月1日(金)～4日(月) 第52回全日本大学選手権大会 岡山県新見市

【ソフトボール部(女子)】

- 7月7日(金)～10日(月) 第49回西日本大学選手権大会 宮崎県宮崎市
- 9月1日(金)～4日(月) 第52回全日本大学選手権大会 広島県東広島市・呉市
- 9月16日(土)・17日(日)・24日(日)・30日(土) 秋季リーグ戦

【ソフトテニス部】

- 6月6日(火)～9日(金) 平成29年全日本大学ソフトテニス王座決定戦 東京体育館(東京都)
- 6月24日(土)・25日(日) 京都府学生ソフトテニス選手権大会
同志社大学多々羅キャンパス
- 7月7日(金)～11日(火) 西日本学生選手権大会 滋賀県長浜市
- 8月4日(金)～10日(木) 平成29年全日本学生ソフトテニス大会 石川県能登町他

【水泳部】

- 6月17日(土)・18日(日) 第16回関西学生夏季公認記録会 京都アクアリーナ
- 7月21日(金)～23日(日) 第91回関西学生選手権水泳競技大会
東和薬品RACETABドーム(大阪府)

- 8月20日(日) 第5回関西学生ブレインカレ水泳競技大会 京都アクアリーナ
 ●9月1日(金)～3日(日) 第93回日本学生選手権水泳競技大会 東和薬品RACTABドーム(大阪府)
 ●9月15日(金)～17日(日) 第72回国民体育大会 アクアパレットまつやま特設プール(愛媛県)
 ●9月18日(月・祝) 第93回日本学生選手権水泳競技大会・マーメイドカップ 横浜国際プール(神奈川県)
- 【相撲部】**
 ●6月4日(日) 第91回西日本学生相撲選手権大会 堺市大浜公園相撲場(大阪府) 10:00
 ●7月2日(日) 第77回西日本選抜学生相撲大会 堺市大浜公園相撲場(大阪府) 10:00
 ●7月16日(日) 第7回全日本大学選抜相撲金沢大会 石川県卯辰山相撲場 9:00
 ●7月30日(日) 第42回西日本学生相撲個人体重別選手権大会 堺市大浜公園相撲場(大阪府) 10:00
 ●8月14日(月) 第52回全日本大学選抜相撲十和田大会 十和田市相撲場 9:00
 ●9月3日(日) 第42回全国学生相撲個人体重別選手権大会 靖国神社相撲場 12:00
 ●9月10日(日) 第65回全国選抜大学・実業団相撲刈谷大会 刈谷市体育館特設相撲場(愛知県) 9:00
- 【射撃部】**
 ●6月22日(木)～25日(日) 第28回西日本学生ライフル射撃選手権大会 第25回西日本女子学生ライフル射撃選手権大会 平成29年度西日本学生エアピストル射撃競技大会 長崎県小江原射撃場
 ●7月1日(土)・2日(日) 第21回日本学生選抜スポーツ射撃競技大会 埼玉県長瀬総合射撃場
 ●9月7日(木)～10日(日) 第64回秋季全関西学生ライフル射撃選手権大会 第23回秋季全関西女子学生ライフル射撃選手権大会

- 第14回秋季全関西学生ピストル射撃競技大会 能勢町国体記念スポーツセンター
【体操競技部】
 ●8月25日(金)～27日(日) 全日本学生新体操選手権大会 岐阜メモリアルセンターで愛ドーム(岐阜県)
【卓球部(男子)】
 ●6月9日(金)～11日(日) 関西学生卓球選手権 向日市民体育館(京都府)
 ●7月6日(木)～9日(日) 第87回全日本大学総合選手権(団体の部) 北海道立総合体育センター
 ●8月17日(木)・18日(金) 第84回全日本大学総合選手権(個人の部) 関西予選 池田市立五月山体育館(大阪府)
 ●9月6日(水)～8日(金) 平成29年度秋季関西学生卓球リーグ 京都市立横大路体育館(京都府)
 ●9月12日(火)～14日(木) 平成29年度秋季関西学生卓球リーグ ベイコム総合体育館(兵庫県)
【テニス部】
 ●8月3日(木)～15日(火) 平成29年度全日本学生テニス選手権大会 岐阜メモリアルセンター(岐阜県)
【ヨット部】
 ●6月3日(土)・4日(日) 早稲田定期戦
 ●6月24日(土)・25日(日) 近畿北陸学生ヨット選手権大会(個人戦) 琵琶湖
 ●8月26日(土)・27日(日) 近畿北陸学生ヨット選手権大会新人戦
 ●9月15日(金)～17日(日) 全日本女子インカレ 葉山
 ●9月29日(金)・30日(土) 近畿北陸学生ヨット選手権大会(団体戦) 福井県
【トリアスロン部】
 ●7月2日(日) 近畿学生トリアスロン選手権 三重県志摩市

♪観に行こう聴きに行こう♪—学生団体6月の活動予定—

【学内】

- 6月1日(木) 同志社大学学生保健部会 「献血」 京田辺 ローム記念館前良心碑北側 10:00～16:40
 ●6月2日(金) 同志社大学学生保健部会 「献血」 今出川 明徳館横(図書館側) 11:30～16:30
 ●6月3日(土) サザン・マウンテン・ミュージック研究会(S.M.M.A.) 「音フェス」 京田辺 ハローホール 10:00～18:00 無料
 ●6月18日(日) 邦楽部 「京都学生三曲連盟 定期演奏会」 今出川 寒梅館ハーディーホール 14:00～17:00(13:30開場) 無料
 ●6月25日(日)～28日(水) ART-SOZO 「6月展」 今出川 寒梅館地下1階ギャラリー 12:00～19:00 無料
 ●6月25日(日) 法学研究会 「常設法律相談会」 今出川 寒梅館2A・2B・2C 13:00～16:30 無料
 ●6月25日(日) ピアノ研究会 「第31回定期演奏会」 今出川 寒梅館ハーディーホール 15:00～18:00(14:30開場)
 ●6月30日(金) F.B.I. 「6月上映会」 今出川 寒梅館クロバーホール 12:30～18:00(12:00開場)
【学外】
 ●6月3日(土) マンドリンクラブ 「第170回定期演奏会」 京都府長岡京記念文化会館 18:30～20:30(18:00開場) 500円
 ●6月17日(土) 交響楽団 「第56回同立交歓演奏会」 京都コンサートホール 大ホール 18:00～(17:00開場) S席:(前売)1500円(当日)2000円 A席:(前売)1000円(当日)1500円 B席:(前売)800円(当日)1000円
 ●6月24日(土)・25日(日) 書道部 「青嵐展」 ・建仁時西来院 ・京都市勸業館みやこめっせ美術工芸ギャラリー A室・B室 24日:10:00～17:00 無料 25日:10:00～16:00 無料

WOT(ワット)＝“What's On Thursdays!”



- 「木曜日には何かがある!」を合言葉に、開講期間中の毎週木曜日、映画上映を中心に多彩なイベントを開催します。
【会場】寒梅館ハーディーホール 【料金】本学学生・教職員はすべて無料
 ●6月15日(木) 映画上映『母 小林多喜二の母の物語』 10:45 / 13:30 / 16:30 / 18:45 2017年/日本/112分/監督:山田火砂子/出演:寺島しのぶ、塩谷瞬 ほか 一般有料
 ●6月22日(木) 映画上映『この世界の片隅に』 10:45 / 17:30 ②2回目上映後、細馬宏通氏(人間行動学、滋賀県立大学人間文化学部教授)によるティーチンあり 2016年/日本/126分/監督:片淵須直/原作:この史代/出演(声):のん、細谷佳正 ほか 料金:一般1300円、Hardience会員・学生・前売1100円
 ●6月29日(木) 映画上映 ＊詳細未定
【お問い合わせ先】 今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270
 ※内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。
 ※春学期は7月未までを予定しています。秋学期は10月から再開予定です。

クロバーシアター



- 開講期間中の毎週火曜日、寒梅館のミニシアター・クロバーホールでは、映画史に残る名作上映を中心に様々なイベントを開催します。
【会場】寒梅館クロバーホール(地階) 【料金】本学学生・教職員はすべて無料
 ●6月6日(火) 《マティアス・ビニエロ映画祭》18:00開場 / 18:30開演 『みんな嘘つき』 ＊上映後にビニエロ監督によるティーチンあり 料金:1200円均一
 ●6月20日(火) 特集《七里圭/インプログレス〜2017初夏、京都〜》18:30開場 / 19:00開演 『ザロメの娘 / ショートピース』 ＊上映後にトークあり。ゲスト:檜垣智也氏(作曲家、アコースティック演奏家)、七里圭監督
 ●6月27日(火) ＊詳細未定
【お問い合わせ先】 今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270
 ※内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。※春学期は7月未までを予定しています。秋学期は10月から再開予定です。

Hardience(ハーディー友の会)メンバー募集中!

- 同志社大学今出川校地学生支援課では、より多くの方に、寒梅館のイベントをきっかけとして本学および本学学生の活動に関心を持っていただくために、私たちとともに催しを盛り上げていただける方を募集しております。お申し込みは、今出川校地学生支援課窓口にて、随時受付中です。
【対象】 一般・他学生(本学学生・教職員は対象外とさせていただきます) **【会費】** 無料
【特典】 寒梅館イベント情報の郵送(希望者のみ)、案内メール配信、映画招待券やコンサート入場券のプレゼント(抽選)・入場料割引、学生団体による公演・お芝居等へのご招待、寒梅館レストランでの割引 etc.
【お問い合わせ先】 今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

Doshisha Spirit Week 2017 春

- 同志社大学には、建学以来脈々と受け継がれてきたキリスト教主義教育、新島襄の建学の教育理念、そしてその実践といった建学の精神と伝統があります。Doshisha Spirit Weekは、キリスト教主義教育や創立者新島襄について触れ、同志社人としてのアイデンティティを高めることを目的としています。
【開催期間】 開催中～6月3日(土)
【京田辺校地】
 ●6月1日(木) 14:55～ 知真館(TC)2号館202番教室 講演 「ラウンジ展『同志社のGLOCAL-京田辺とのあゆみ-』について」 同志社社史資料センター社史資料調査員 小枝 弘和
【今出川校地】
 ●6月1日(木) 13:10～ 良心館(RY)103番教室 講演 「ぶどうの枝のように-ヴォーリス、清水安三、ハーバート・ニコルソン-」 アシュラムセンター主幹牧師 榎本 恵
 ●6月2日(金) 13:10～(1時間程度) 同志社礼拝堂前集合 キャンパスめぐり隊 「今出川、今昔」 案内人 同志社社史資料センター社史資料調査員 布施 智子
【お問い合わせ先】 同志社文化センター京田辺校地事務室 TEL:0774-65-7370 同志社文化センター今出川校地事務室 TEL:075-251-3320

COVER INTERVIEW My Purpose 挑戦する人

経済産業省・IoT推進ラボが共催する
「第2回ビッグデータ分析コンテスト」で
売上予測部門最高予測精度賞を受賞

現在、IoT (Internet of Things) の進化が日々の生活やビジネスの在り方を大きく変えようとしている。IoTとは現代社会を構成する様々な「モノ」を、ネットワーク化し、利便性や効率化などを図る「モノのインターネット」を構築することである。この産業活性化を目的として、革新的なデータ分析事例・アイデアを広く公募するために、2015年度から経済産業省・IoT推進ラボ共催で、実施しているのが「ビッグデータ分析コンテスト (Big Data Analysis Contest)」である。2016年度・第2回のテーマは「流通・小売」、部門は予測モデル構築と説明変数の設計を目的とした売上予測部門と売れる商品特性の解明と新たな健康菓子のアイデアを求める新商品開発部門。分析データ (健康菓子シリーズ・全26種類、オリジナル菓子シリーズ・全47種類のPOS・商品特性データ) はコンビニエンスストアのローソンから提供された。本学文化情報学部4年次生 (受賞時3年次生) の後藤智紀さん、藤澤将広さんのチームは、売上予測部門において最高予測精度賞を獲得。社会人や大学院生が多数を占める150チームの中で、学部生が受賞したことも大きな話題となった。この快挙が高く評価され、2016年度の同志社総長賞にも選出された。

2人は3年次生の時に、宿久洋文化情報学部教授のデータサイエンス科目・数理統計Ⅱの講義で出会い、宿久教授の勧めで昨年7月に本コンテストへの応募を決めた。初期の段階で店舗の立地エリア、原材料、商品説明文に含まれる単語を抽出するという着想を得る。続けてデータを可視化し、多角的な視点から考察。最高の精度予測が見込める独自の切り口を探究する。連日、深夜まで熱い議論を重

ね、全力を傾注したという。その後、統計的手法や機械学習などを分担して作業を推し進め、売上に大きく影響している要因を絞り込む。店舗立地のエリア、顧客の性別・年齢、商品のカロリーなどの栄養素である。本コンテストは応募期間中であれば、逐次表示される順位を確認しながら提出した予測モデルを再考し、精度を高めていける方式が取られていた。その順位に一喜一憂しながら応募を繰り返し、最終提出は締切日の日付が変わる直前だった。

「真夜中に後藤君から電話があり、僕たちのチームが1位だと知りました。全力を出し切ったと感じる半面、他の参加者の方々は優秀だったので、上位に残れるかとても不安でした。だから、本当に飛び上がるほどうれしかった。そして、データ分析は実に奥が深いと思いました」と、藤澤さんは当時をふり返る。授賞式は幕張メッセで開催された。その時の感激を後藤さんは「僕は宿久教授の統計科学研究室に1年次生の時から参加し、積極的に様々なテーマに取り組んできました。それが実を結んだと思うと、本当にうれしかった。宿久教授にも心から感謝しています」と感慨深げに語る。また、今年3月に表彰式が行われた同志社総長賞について藤澤さんは「身に余る光栄です。この賞に恥じないようにこれからも頑張りたい」、後藤さんは「同時に受賞したのは、世界で活躍している方々ばかりで、その中に入れて感激しました」と話す。今春から2人は志望していた統計科学研究室に所属し、切磋琢磨の日々を送っており、世界各国のデータサイエンティストが競うデータコンペティション世界大会「Kaggle」にもチームを組んで挑みたいと今後の目標を語ってくれた。



後藤 智紀さん

藤澤 将広さん

後藤 智紀さん 藤澤 将広さん
【文化情報学部 4年次生】